大学番号 113

注３

設置年度　　平成　　30年度

計画の区分：　学部の設置

注１

届出

日本体育大学　スポーツマネジメント学部　スポーツライフマネジメント学科

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人日本体育大学
令和３年５月１日現在

作成担当者

学生支援センター学修・キャリア支援部門

職名・氏名	事務長（ジムチョウ）　菊名（キクナ）　博之（ヒロユキ）
電話番号	０３-５７０６-０９０３
（夜間）	０３-５７０６-０９０２
ｅ－mail	kikuna@nittai.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和３年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

スポーツマネジメント学部

＜スポーツライフマネジメント学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３４

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人日本体育大学

（２）大　学　名

日本体育大学

（３）調査対象大学等の位置

〒２２７－００３３　神奈川県横浜市青葉区鴨志田町１２２１－１
（〒１５８－８５０８　東京都世田谷区深沢７－１－１－）

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ マツナミ　ケンシロウ ） 松浪　健四郎 （ 平成２３年６月）		
学　　長	（ グシケン　コウジ） 具志堅　幸司 （平成２９年４月）	（ イシイ　タカノリ） 石井　隆憲 （令和３年４月）	任期満了のため変更 （令和３年4月1日）（3）
学 部 長	（ イシイ　タカノリ） 石井　隆憲 （平成３０年４月）	（ヒビノ　ミキオ） 日比野　幹生 （令和３年４月）	辞任による変更 （令和３年４月１日）（3）
学科長等	（ヨダ　ミツヨ） 依田　充代 （平成３０年４月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和２年度に報告済の内容　→（２）
令和３年度に報告する内容　→（３）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
・　様式は、平成２９年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
スポーツマネジメント学部 スポーツライフマネジメント学科 学士（体育学）	体育関係	4年	110人	年次 人	440人		

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A　入学定員	－ （　） [　]	－	110人 （－） [－]	－	110人 （－） [－]	－	110人 （－） [－]	－	110人 （－） [－]	－	1.02倍	－	
志願者数	（　） [　]	（　） [　]	414 （－） [－]	－ （－） [－]	945 （－） [－]	－ （－） [－]	573 （－） [－]	－ （－） [－]	328 （－） [－]	－ （－） [－]			
受験者数	（　） [　]	（　） [　]	386 （－） [－]	－ （－） [－]	915 （－） [－]	－ （－） [－]	549 （－） [－]	－ （－） [－]	320 （－） [－]	－ （－） [－]			
合格者数	（　） [　]	（　） [　]	171 （－） [－]	－ （－） [－]	189 （－） [－]	－ （－） [－]	236 （－） [－]	－ （－） [－]	187 （－） [－]	－ （－） [－]			
B　入学者数	（　） [　]	（　） [　]	113 （－） [－]	－ （－） [－]	112 （－） [－]	－ （－） [－]	110 （－） [－]	－ （－） [－]	116 （－） [－]	－ （－） [－]			
入学定員超過率 B／A			1.02		1.01		1.00		1.05				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　[　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和３年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	113 [ ] ( )	－ [－] (－)	111 [－] (－)	－ [－] (－)	110 [－] (－)	－ [－] (－)	116 [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	113 [－] (－)	－ [－] (－)	111 [－] (－)	－ [－] (－)	110 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	113 [－] (－)	－ [－] (－)	111 [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	113 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		113 [－] (－)		224 [－] (－)		334 [－] (－)		450 [－] (－)		

・令和３年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	退学者数	うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成29年度	0 人	0 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
平成30年度	113 人	0 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	－ 人	－ 人	
令和元年度	224 人	1 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	1 人	－ 人	除籍（1名）
令和2年度	334 人	0 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
令和3年度	450 人	0 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
合　計		1 人		1 人	－ 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月１日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\text{\#DIV/0!}}\ \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{113} = \boxed{0}\ \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{224} = \boxed{0.44}\ \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{334} = \boxed{0}\ \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{450} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜スポーツマネジメント学部　スポーツライフマネジメント学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
学部共通科目	教養科目	国語表現Ⅰ	1前	1								1
		国語表現Ⅱ	2前	1								1
		基礎英語Ⅰ	1前	1								1
		基礎英語Ⅱ	1後	1								1
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	2前	1								1
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	2後	1								1
		哲学	1前		2							1
		法学(日本国憲法)	1後		2		1					
		心理学	1後		2							1
		芸術(音楽)	1後		2							1
		情報処理(情報機器の操作を含む)	1前		2							1
		社会学	2前		2							1
		歴史学	2後		2							1
		経済学	2前		2							1
		統計学	2後		2							1
		生命科学	2前		2							1
		海外語学研修	1後			2						1
		応用英語	1通			2						1
		ﾄﾞｲﾂ語	1通			2						1
		ﾌﾗﾝｽ語	1通			2	1					
		中国語	1通			2						1
		ｺﾘｱ語	1通			2						1
		小計（22科目）	―	6	20	12	2	0	0	0	0	15
	総合教育科目	日体大の歴史(日体伝統実習を含む)	1前	2								1
		体育研究発表実演会	1後			1						1
		ｽﾎﾟｰﾂと組織	2後			2						1
		海浜実習	2前		1							1
		ｷｬﾝﾌﾟ実習	2前		1					1		
		ｽｷｰ実習	3後		1							1
		ｽｹｰﾄ実習	3後		1		1					
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究A	1前	2								2
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B	2後	1								3
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C	3通	2			8	2		2		
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D	4通	2			8	2		2		
		卒業研究	4通			2	8	2		2		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝA	2後	2								1
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝB	3前			2						1
		ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ(事前・事後指導を含む)	2後			1						1
		小計（15科目）	―	11	4	8	8	2	0	2	0	10
学部専門（理論）科目	基幹科目	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論	1前	2								1
		ｽﾎﾟｰﾂ社会学	3後	2			1					
		ｽﾎﾟｰﾂ政策学	2前	2								1
		ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ	1後	2			1					2
		ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論	2前		2		1					
		情報ﾘﾃﾗｼｰ	1前		2							1
		地域社会とｽﾎﾟｰﾂ	1後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ論	4後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ法学	3前		2		1					
		ｽﾎﾟｰﾂ経済学	2後		2							1
		小計（10科目）	―	8	12	0	3	0	0	0	0	5

【令和３年度】

科目区分	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
学部共通科目	教養科目	国語表現Ⅰ	1前	1								1
		国語表現Ⅱ	2前	1								1
		基礎英語Ⅰ	1前	1								1
		基礎英語Ⅱ	1後	1								1
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	2前	1								1
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	2後	1								1
		哲学	1前		2							1
		法学(日本国憲法)	1後		2		1					
		心理学	1後		2							1
		芸術(音楽)	1後		2							1
		情報処理(情報機器の操作を含む)	1前		2							1
		社会学	2前		2							1
		歴史学	2後		2							1
		経済学	2前		2							1
		統計学	2後		2							1
		生命科学	2前		2							1
		海外語学研修	1後			2						1
		応用英語	1通			2						1
		ﾄﾞｲﾂ語	1通			2						1
		ﾌﾗﾝｽ語	1通			2	1					
		中国語	1通			2						1
		ｺﾘｱ語	1通			2						1
		小計（22科目）	―	6	20	12	2	0	0	0	0	16
	総合教育科目	日体大の歴史(日体伝統実習を含む)	1前	2								1
		体育研究発表実演会	1後			1						1
		ｽﾎﾟｰﾂと組織	2後			2						1
		海浜実習	2前		1							1
		ｷｬﾝﾌﾟ実習	2前		1					1		
		ｽｷｰ実習	3後		1							1
		ｽｹｰﾄ実習	3後		1		1					
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究A	1前	2								2
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B	2後	1								2
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C	3通	2			9	1		2		
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D	4通	2			9	1		2		
		卒業研究	4通			2	9	1		2		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝA	2後	2								1
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝB	3前			2						1
		ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ(事前・事後指導を含む)	2後			1						1
		小計（15科目）	―	11	4	8	9	1	0	2	0	10
学部専門（理論）科目	基幹科目	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論	1前	2								1
		ｽﾎﾟｰﾂ社会学	3後	2			1					
		ｽﾎﾟｰﾂ政策学	2前	2								1
		ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ	1後	2			1					2
		ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論	2前		2		1					
		情報ﾘﾃﾗｼｰ	1前		2							1
		地域社会とｽﾎﾟｰﾂ	1後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ論	4後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ法学	3前		2		1					
		ｽﾎﾟｰﾂ経済学	2後		2							1
		小計（10科目）	―	8	12	0	3	0	0	0	0	5

科目区分	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部専門（理論）科目	展開科目	ｽﾎﾟｰﾂ哲学	1後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ史	2後		2							1
		機能解剖学	1後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ生理学	2後		2							1
		発育発達論	1後		2							1
		ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ学	2前		2		1					
		ｽﾎﾟｰﾂ栄養学(食品学を含む)	2前		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ医学	2後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ心理学	3後		2							1
		衛生学･公衆衛生学(運動衛生学を含む)	1後		2							1
		救急処置実習	2後		1			1				
		ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ実践演習	2後		1							1
		小計（12科目）	―	0	22	0	1	1	0	0	0	9
学部専門（体育実技）科目	展開科目	運動方法･体つくり運動(体操)	1前	1								1
		運動方法･器械運動	1後	1								1
		運動方法･陸上競技	1前	1								1
		運動方法･水泳	1前	1								1
		運動方法･ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ(野球を含む)	1後	1						1		
		運動方法･ﾀﾞﾝｽ(ﾌｫｰｸﾀﾞﾝｽを含む)	1後	1								1
		運動方法･球技A	1後	1			1					
		運動方法･球技B	1前	1								1
		運動方法･武道(柔道)	1後		1							1
		運動方法･武道(剣道)	1後		1							1
		運動方法･武道(相撲)	1前		1							1
		小計（11科目）	―	8	3	0	1	0	0	1	0	9
学科基礎科目	基幹科目	ｽﾎﾟｰﾂﾗｲﾌﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論	1前	2			1					
		野外教育概論	1前	2						1		
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ概論	2前	2				1				
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅰ	2前	2								1
		小計（4科目）	―	8	0	0	1	1	0	1	0	1
	展開科目	野外活動論	1後	2						1		
		ｽﾎﾟｰﾂ行政	1前	2								1
		ﾌｧｼﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論	3後	2								1
		現代の子どもと社会教育	3後	2			1					
		生涯学習概論Ⅰ	1前	2								1
		ﾚｼﾞｬｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論	3前	2								1
		小計（6科目）	―	12	0	0	1	0	0	1	0	4
学科専門科目	基幹（理論）科目	社会教育計画Ⅰ	2前	2								1
		ｽﾎﾟｰﾂとまちづくり	3後	2								1
		小計（2科目）	―	4	0	0	0	0	0	0	0	2
	基幹（実践）科目	地域ｽﾎﾟｰﾂ演習	3前		1		1					1
		地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習(事前･事後指導を含む)	3後		1		1					1
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ現場実習	2通		1							1
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ現場実習	3通		1			1				
		野外活動現場実習	3通		1		1	1		1		2
		小計（5科目）	―	0	5	0	2	2	0	1	0	4
	展開（理論）科目	野外活動計画論	3前		2		1					
		野外活動と環境	3前		2		1					
		野外活動における安全管理	3前		2			1				
		社会調査論	3前		2		1					
		障害概論	1前		2							1
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅱ	2後		2							1
		生涯学習概論Ⅱ	2後		2		1					
		小計（7科目）	―	0	14	0	3	1	0	0	0	1

科目区分	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部専門（理論）科目	展開科目	ｽﾎﾟｰﾂ哲学	1後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ史	2後		2							1
		機能解剖学	1後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ生理学	2後		2							1
		発育発達論	1後		2							1
		ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ学	2前		2		1					
		ｽﾎﾟｰﾂ栄養学(食品学を含む)	2前		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ医学	2後		2							2
		ｽﾎﾟｰﾂ心理学	3後		2							1
		衛生学･公衆衛生学(運動衛生学を含む)	1後		2							1
		救急処置実習	2後		1		1	0				
		ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ実践演習	2後		1							2
		小計（12科目）	―	0	22	0	2	0	0	0	0	11
学部専門（体育実技）科目	展開科目	運動方法･体つくり運動(体操)	1前	1								1
		運動方法･器械運動	1後	1								1
		運動方法･陸上競技	1前	1								2
		運動方法･水泳	1前	1								6
		運動方法･ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ(野球を含む)	1後	1						1		
		運動方法･ﾀﾞﾝｽ(ﾌｫｰｸﾀﾞﾝｽを含む)	1後	1								2
		運動方法･球技A	1後	1			1					2
		運動方法･球技B	1前	1								1
		運動方法･武道(柔道)	1後		1							1
		運動方法･武道(剣道)	1後		1							1
		運動方法･武道(相撲)	1前		1							1
		小計（11科目）	―	8	3	0	1	0	0	1	0	18
学科基礎科目	基幹科目	ｽﾎﾟｰﾂﾗｲﾌﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論	1前	2			1					
		野外教育概論	1前	2						1		
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ概論	2前	2				1				
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅰ	2前	2								1
		小計（4科目）	―	8		0	1	1	0	1	0	1
	展開科目	野外活動論	1後	2			1			0		
		ｽﾎﾟｰﾂ行政	1前	2								1
		ﾌｧｼﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論	3後	2								1
		現代の子どもと社会教育	3後	2			0					1
		生涯学習概論Ⅰ	1前	2			0					1
		ﾚｼﾞｬｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論	3前	2								1
		小計（6科目）	―	12	0	0	1	0	0	0	0	5
学科専門科目	基幹（理論）科目	社会教育計画Ⅰ	2前	2								1
		ｽﾎﾟｰﾂとまちづくり	3後	2								1
		小計（2科目）	―	4	0	0	0	0	0	0	0	2
	基幹（実践）科目	地域ｽﾎﾟｰﾂ演習	3前		1		1					1
		地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習(事前･事後指導を含む)	3後		1		1					1
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ現場実習	2通		1							1
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ現場実習	3通		1			1				
		野外活動現場実習	3通		1		2	0		1		2
		小計（5科目）	―	0	5	0	3	1	0	1	0	4
	展開（理論）科目	野外活動計画論	3前		2		1					
		野外活動と環境	3前		2		1					
		野外活動における安全管理	3前		2		1	0				
		社会調査論	3前		2		0					1
		障害概論	1前		2							1
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅱ	2後		2							1
		生涯学習概論Ⅱ	2後		2		1					
		小計（7科目）	―	0	14	0	3	0	0	0	0	2

科目区分	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科専門科目	展開（実践）科目	生涯ｽﾎﾟｰﾂ演習	2前		1							1
		異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ演習	3後		1		1					
		社会調査演習	3後		1		1					
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ	2後		1							1
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅱ	3後		1							1
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅰ	2前		1			1				
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅱ	4後		1			1				
		野外活動実技	3前		1					1		
		ﾈｲﾁｬｰｹﾞｰﾑ	3前		1					1		
		専門運動方法(ｱｰﾁｪﾘｰ)	4前		1		1					
		ｽﾀｼﾞｵｴｸｻｻｲｽﾞ	3後		1							1
		専門運動方法(ｺﾞﾙﾌ)	4後		1							1
		ﾛｰｵｰｶﾞﾅｲｽﾞﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ	3前		1			1				
		ﾏﾘﾝｽﾎﾟｰﾂ理論・実習	2前		3			1				
		ｳｫｰﾀｰｾｰﾌﾃｨｰ理論・実習	3前		3			1				
		ｷｬﾝﾌﾟ理論・実習	3前		3					1		
		ｺﾞﾙﾌ理論・実習	3前		3							1
		ｽｷｰ理論・実習	2後		3							1
		ｽｹｰﾄ理論・実習	3通		3		1					
		地域福祉と社会教育	4後		2							1
		社会教育計画Ⅱ	3後		2							1
		社会教育演習Ⅰ(実習を含む)	3前		2		1					
		社会教育演習Ⅱ(実習を含む)	3後		2		1					
		予防医学	4後		2							1
		健康管理学	4後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ経営管理学	3前		2							1
		教育原理	1前		2							1
		教育心理学	2後		2							1
		体育科教育法	2後		2							1
		保健科教育法	2後		2							1
		道徳教育の指導法	2前		2							1
		特別活動の指導法	2後		2							1
		学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2後		2							1
		人権教育	3後		2							1
		学校安全(救急処置を含む)	3後		2							1
		教育の方法と技術	3前		2							1
		教師論	1後		2							1
		教育の制度と経営	3前		2							1
		教育課程論	3前		2							1
		教育相談(ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞを含む)	3後		2							1
		体育科教育実践法	3後		1							1
		保健科教育実践法	3後		1							1
		ｽﾎﾟｰﾂ実践指導法・陸上競技	3前		1							1
		小計(43科目)	―	0	76	0	5	2	0	1	0	22
	資格関連科目	生徒指導論(進路指導を含む)	3後			2						1
		教職実践演習	4後			2						1
		教育実習	4前			4						1
		事前事後の指導	4前			1						1
		小計(4科目)	―	0	0	9	0	0	0	0	0	3
	関連科目	航空基礎	1前			2						1
		航空概論	1後			2						1
		航空産業論	2前			2						1
		ｸﾙｰ・ﾘｿｰｽ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	2後			2						1
		飛行安全	2後			2						1
		小計(5科目)	―	0	0	10	0	0	0	0	0	1
合計(146科目)			―	57	156	39	8	2	0	2	0	63

卒業要件及び履修方法

＜学部共通科目＞の【教養科目】必修から6単位、選択1から6単位以上、選択2から4単位以上、【総合教育科目】必修1から2単位、必修2から7単位、必修3から2単位、選択1から1単位以上、選択2から1単位以上、＜学部専門(理論)科目＞【基幹科目】から必修科目8単位、選択から6単位以上、【展開科目】選択1から10単位以上、選択2から1単位以上、＜学部専門(体育実技)科目＞【展開科目】必修1から6単位、必修2から2単位、選択から1単位以上、小計63単位以上修得し、＜学科基礎科目＞の【基幹科目】必修から8単位、【展開科目】必修から12単位、小計20単位以上修得し、＜学科専門科目＞の【基幹(理論)科目】必修から4単位、【基幹(実践)科目】選択から3単位以上、【展開(理論)科目】選択から8単位以上、【展開(実践)科目】選択1から2単位以上、選択2から5単位以上、選択3から6単位以上、選択4から2単位以上、選択5から11単位以上、小計41単位以上修得し、合わせて124単位以上修得すること。
(履修単位の年間登録の上限:44単位(年間))

科目区分	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科専門科目	展開（実践）科目	生涯ｽﾎﾟｰﾂ演習	2前		1							1
		異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ演習	3後		1		1					
		社会調査演習	3後		1		1					
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ	2後		1							1
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅱ	3後		1							1
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅰ	2前		1			1				
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅱ	4後		1			1				
		野外活動実技	3前		1					1		
		ﾈｲﾁｬｰｹﾞｰﾑ	3前		1					1		
		専門運動方法(ｱｰﾁｪﾘｰ)	4前		1		1					
		ｽﾀｼﾞｵｴｸｻｻｲｽﾞ	3後		1							1
		専門運動方法(ｺﾞﾙﾌ)	4後		1							1
		ﾛｰｵｰｶﾞﾅｲｽﾞﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ	3前		1			1				
		ﾏﾘﾝｽﾎﾟｰﾂ理論・実習	2前		3		1	0				
		ｳｫｰﾀｰｾｰﾌﾃｨｰ理論・実習	3前		3		1	0				
		ｷｬﾝﾌﾟ理論・実習	3前		3					1		
		ｺﾞﾙﾌ理論・実習	3前		3							1
		ｽｷｰ理論・実習	2後		3							1
		ｽｹｰﾄ理論・実習	3通		3		1					
		地域福祉と社会教育	4後		2							1
		社会教育計画Ⅱ	3後		2							1
		社会教育演習Ⅰ(実習を含む)	3前		2		1					
		社会教育演習Ⅱ(実習を含む)	3後		2		1					
		予防医学	4後		2							1
		健康管理学	4後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ経営管理学	3前		2							1
		教育原理	1前		2							1
		教育心理学	2後		2							1
		体育科教育法	2後		2							1
		保健科教育法	2後		2							1
		道徳教育の指導法	2前		2							1
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2後		2							1
		学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2後		2							1
		人権教育	3後		2							1
		学校安全(救急処置を含む)	3後		2							1
		教育の方法と技術	3前		2							1
		教師論	1後		2							1
		教育の制度と経営	3前		2							1
		教育課程論	3前		2							1
		教育相談(ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞを含む)	3後		2							1
		体育科教育実践法	3後		1							1
		保健科教育実践法	3後		1							1
		ｽﾎﾟｰﾂ実践指導法・陸上競技	3前		1							1
		小計(43科目)	―	0	76	0	6	1	0	1	0	25
	資格関連科目	生徒指導論(進路指導を含む)	3後			2						1
		教職実践演習	4後			2						1
		教育実習	4前			4						1
		事前事後の指導	4前			1						1
		小計(4科目)	―	0	0	9	0	0	0	0	0	2
	関連科目	航空基礎	1前			2						1
		航空概論	1後			2						1
		航空産業論(未開講)	2前			2						1
		ｸﾙｰ・ﾘｿｰｽ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ(未開講)	2後			2						1
		飛行安全(未開講)	2後			2						1
		小計(5科目)	―	0	0	10	0	0	0	0	0	1
合計(146科目)			―	57	156	39	9	1	0	2	0	80

卒業要件及び履修方法

＜学部共通科目＞の【教養科目】必修から6単位、選択1から6単位以上、選択2から4単位以上、【総合教育科目】必修1から2単位、必修2から7単位、必修3から2単位、選択1から1単位以上、選択2から1単位以上、＜学部専門(理論)科目＞【基幹科目】から必修科目8単位、選択から6単位以上、【展開科目】選択1から10単位以上、選択2から1単位以上、＜学部専門(体育実技)科目＞【展開科目】必修1から6単位、必修2から2単位、選択から1単位以上、小計63単位以上修得し、＜学科基礎科目＞の【基幹科目】必修から8単位、【展開科目】必修から12単位、小計20単位以上修得し、＜学科専門科目＞の【基幹(理論)科目】必修から4単位、【基幹(実践)科目】選択から3単位以上、【展開(理論)科目】選択から8単位以上、【展開(実践)科目】選択1から2単位以上、選択2から5単位以上、選択3から6単位以上、選択4から2単位以上、選択5から11単位以上、小計41単位以上修得し、合わせて124単位以上修得すること。
(履修単位の年間登録の上限:44単位(年間))

【平成３０年度】

科目区分	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
学部共通科目	教養科目	国語表現Ⅰ	1前	1								1
		国語表現Ⅱ	2前	1								1
		基礎英語Ⅰ	1前	1								1
		基礎英語Ⅱ	1後	1								2
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	2前	1								1
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	2後	1								1
		哲学	1前		2							1
		法学(日本国憲法)	1後		2		1					
		心理学	1後		2							1
		芸術(音楽)	1後		2							1
		情報処理(情報機器の操作を含む)	1前		2							1
		社会学	2前		2							1
		歴史学	2後		2							1
		経済学	2前		2							1
		統計学	2後		2							1
		生命科学	2前		2							1
		海外語学研修	1後			2						1
		応用英語	1通			2						1
		ﾄﾞｲﾂ語	1通			2						1
		ﾌﾗﾝｽ語	1通			2	1					
		中国語	1通			2						1
		ｺﾘｱ語	1通			2						1
		小計(22科目)	―	6	20	12	2	0	0	0	0	15
	総合教育科目	日体大の歴史(日体伝統実習を含む)	1前	2								1
		体育研究発表実演会	1後			1						1
		ｽﾎﾟｰﾂと組織	2後			2						1
		海浜実習	2前		1							1
		ｷｬﾝﾌﾟ実習	2前		1					1		
		ｽｷｰ実習	3後		1							1
		ｽｹｰﾄ実習	3後		1		1					
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究A	1前	2								2
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B	2後	1								3
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C	3通	2			9	1		2		
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D	4通	2			9	1		2		
		卒業研究	4通			2	9	1		2		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝA	2後	2								1
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝB	3前			2						1
		ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ(事前・事後指導を含む)	2後			1						1
		小計(15科目)	―	11	4	8	9	1	0	2	0	10
学部専門（理論）科目	基幹科目	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論	1前	2								1
		ｽﾎﾟｰﾂ社会学	3後	2			1					
		ｽﾎﾟｰﾂ政策学	2前	2								1
		ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ	1後	2			1					2
		ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論	2前		2		1					
		情報ﾘﾃﾗｼｰ	1前		2							1
		地域社会とｽﾎﾟｰﾂ	1後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ論	4後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ法学	3前		2		1					
		ｽﾎﾟｰﾂ経済学	2後		2							1
		小計(10科目)	―	8	12	0	3	0	0	0	0	5
学部専門（理論）科目	展開科目	ｽﾎﾟｰﾂ哲学	1後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ史	2後		2							1
		機能解剖学	1後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ生理学	2後		2							1
		発育発達論	1後		2							1
		ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ学	2前		2		1					
		ｽﾎﾟｰﾂ栄養学(食品学を含む)	2前		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ医学	2後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ心理学	3後		2							1
		衛生学･公衆衛生学(運動衛生学を含む)	1後		2							1
		救急処置実習	2後		1		1	0				
		ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ実践演習	2後		1							1
		小計(12科目)	―	0	22	0	2	0	0	0	0	9

【令和元年度】

科目区分	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
学部共通科目	教養科目	国語表現Ⅰ	1前	1								1
		国語表現Ⅱ	2前	1								1
		基礎英語Ⅰ	1前	1								1
		基礎英語Ⅱ	1後	1								1
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	2前	1								1
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	2後	1								1
		哲学	1前		2							1
		法学(日本国憲法)	1後		2		1					
		心理学	1後		2							1
		芸術(音楽)	1後		2							1
		情報処理(情報機器の操作を含む)	1前		2							1
		社会学	2前		2							1
		歴史学	2後		2							1
		経済学	2前		2							1
		統計学	2後		2							1
		生命科学	2前		2							1
		海外語学研修	1後			2						1
		応用英語	1通			2						1
		ﾄﾞｲﾂ語	1通			2						1
		ﾌﾗﾝｽ語	1通			2	1					
		中国語	1通			2						1
		ｺﾘｱ語	1通			2						1
		小計(22科目)	―	6	20	12	2	0	0	0	0	16
	総合教育科目	日体大の歴史(日体伝統実習を含む)	1前	2								1
		体育研究発表実演会	1後			1						1
		ｽﾎﾟｰﾂと組織	2後			2						1
		海浜実習	2前		1							1
		ｷｬﾝﾌﾟ実習	2前		1					1		
		ｽｷｰ実習	3後		1							1
		ｽｹｰﾄ実習	3後		1		1					
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究A	1前	2								2
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B	2後	1								2
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C	3通	2			9	1		2		
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D	4通	2			9	1		2		
		卒業研究	4通			2	9	1		2		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝA	2後	2								1
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝB	3前			2						1
		ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ(事前・事後指導を含む)	2後			1						1
		小計(15科目)	―	11	4	8	9	1	0	2	0	9
学部専門（理論）科目	基幹科目	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論	1前	2								1
		ｽﾎﾟｰﾂ社会学	3後	2			1					
		ｽﾎﾟｰﾂ政策学	2前	2								1
		ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ	1後	2			1					2
		ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論	2前		2		1					
		情報ﾘﾃﾗｼｰ	1前		2							1
		地域社会とｽﾎﾟｰﾂ	1後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ論	4後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ法学	3前		2		1					
		ｽﾎﾟｰﾂ経済学	2後		2							1
		小計(10科目)	―	8	12	0	3	0	0	0	0	5
学部専門（理論）科目	展開科目	ｽﾎﾟｰﾂ哲学	1後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ史	2後		2							1
		機能解剖学	1後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ生理学	2後		2							1
		発育発達論	1後		2							1
		ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ学	2前		2		1					
		ｽﾎﾟｰﾂ栄養学(食品学を含む)	2前		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ医学	2後		2							2
		ｽﾎﾟｰﾂ心理学	3後		2							1
		衛生学･公衆衛生学(運動衛生学を含む)	1後		2							1
		救急処置実習	2後		1		1	0				
		ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ実践演習	2後		1							2
		小計(12科目)	―	0	22	0	2	0	0	0	0	11

学部専門（体育実技）科目	展開科目	運動方法・体つくり運動(体操)	1前	1								1
		運動方法・器械運動	1後	1								3
		運動方法・陸上競技	1前	1								1
		運動方法・水泳	1前	1								4
		運動方法・ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ(野球を含む)	1後	1						1		1
		運動方法・ﾀﾞﾝｽ(ﾌｫｰｸﾀﾞﾝｽを含む)	1後	1								2
		運動方法・球技A	1後	1			1					1
		運動方法・球技B	1前	1								1
		運動方法・武道(柔道)	1後		1							1
		運動方法・武道(剣道)	1後		1							1
		運動方法・武道(相撲)	1前		1							1
		小計（11科目）	―	8	3	0	1	0	0	1	0	17
学科基礎科目	基幹科目	ｽﾎﾟｰﾂﾗｲﾌﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論	1前	2			1					
		野外教育概論	1前	2						1		
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ概論	2前	2				1				
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅰ	2前	2								1
		小計（4科目）	―	8		0	1	1	0	1	0	1
	展開科目	野外活動論	1後	2			1			0		
		ｽﾎﾟｰﾂ行政	1前	2								1
		ﾌｧｼﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論	3後	2								1
		現代の子どもと社会教育	3後	2			1					
		生涯学習概論Ⅰ	1前	2			1					0
		ﾚｼﾞｬｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論	3前	2								1
		小計（6科目）	―	12	0	0	2	0	0	0	0	3
学科専門科目	基幹（理論）科目	社会教育計画Ⅰ	2前	2								1
		ｽﾎﾟｰﾂとまちづくり	3後	2								1
		小計（2科目）	―	4	0	0	0	0	0	0	0	2
	基幹（実践）科目	地域ｽﾎﾟｰﾂ演習	3前		1		1					1
		地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習(事前・事後指導を含む)	3後		1		1					1
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ現場実習	2通		1							1
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ現場実習	3通		1			1				
		野外活動現場実習	3通		1		2	0		1		2
		小計（5科目）	―	0	5	0	3	1	0	1	0	4
	展開（理論）科目	野外活動計画論	3前		2		1					
		野外活動と環境	3前		2		1					
		野外活動における安全管理	3前		2		1	0				
		社会調査論	3前		2		1					
		障害概論	1前		2							1
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅱ	2後		2							1
		生涯学習概論Ⅱ	2後		2		1					
		小計（7科目）	―	0	14	0	4	0	0	0	0	1

学部専門（体育実技）科目	展開科目	運動方法・体つくり運動(体操)	1前	1								1
		運動方法・器械運動	1後	1								2
		運動方法・陸上競技	1前	1								2
		運動方法・水泳	1前	1								6
		運動方法・ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ(野球を含む)	1後	1						1		1
		運動方法・ﾀﾞﾝｽ(ﾌｫｰｸﾀﾞﾝｽを含む)	1後	1								2
		運動方法・球技A	1後	1			1					1
		運動方法・球技B	1前	1								1
		運動方法・武道(柔道)	1後		1							1
		運動方法・武道(剣道)	1後		1							1
		運動方法・武道(相撲)	1前		1							1
		小計（11科目）	―	8	3	0	1	0	0	1	0	19
学科基礎科目	基幹科目	ｽﾎﾟｰﾂﾗｲﾌﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論	1前	2			1					
		野外教育概論	1前	2						1		
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ概論	2前	2				1				
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅰ	2前	2								1
		小計（4科目）	―	8		0	1	1	0	1	0	1
	展開科目	野外活動論	1後	2			1			0		
		ｽﾎﾟｰﾂ行政	1前	2								1
		ﾌｧｼﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論	3後	2								1
		現代の子どもと社会教育	3後	2			1					
		生涯学習概論Ⅰ	1前	2			1					0
		ﾚｼﾞｬｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論	3前	2								1
		小計（6科目）	―	12	0	0	2	0	0	0	0	3
学科専門科目	基幹（理論）科目	社会教育計画Ⅰ	2前	2								1
		ｽﾎﾟｰﾂとまちづくり	3後	2								1
		小計（2科目）	―	4	0	0	0	0	0	0	0	2
	基幹（実践）科目	地域ｽﾎﾟｰﾂ演習	3前		1		1					1
		地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習(事前・事後指導を含む)	3後		1		1					1
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ現場実習	2通		1							1
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ現場実習	3通		1			1				
		野外活動現場実習	3通		1		2	0		1		2
		小計（5科目）	―	0	5	0	3	1	0	1	0	4
	展開（理論）科目	野外活動計画論	3前		2		1					
		野外活動と環境	3前		2		1					
		野外活動における安全管理	3前		2		1	0				
		社会調査論	3前		2		1					
		障害概論	1前		2							1
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅱ	2後		2							1
		生涯学習概論Ⅱ	2後		2		1					
		小計（7科目）	―	0	14	0	4	0	0	0	0	1

科目区分	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
学科専門科目	展開（実践）科目	生涯ｽﾎﾟｰﾂ演習	2前		1							1
		異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ演習	3後		1		1					
		社会調査演習	3後		1		1					
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ	2後		1							1
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅱ	3後		1							1
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅰ	2前		1			1				
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅱ	4後		1			1				
		野外活動実技	3前		1					1		
		ﾈｲﾁｬｰｹﾞｰﾑ	3前		1					1		
		専門運動方法(ｱｰﾁｪﾘｰ)	4前		1		1					
		ｽﾀｼﾞｵｴｸｻｻｲｽﾞ	3後		1							1
		専門運動方法(ｺﾞﾙﾌ)	4後		1							1
		ﾛｰｵｰｶﾞﾅｲｽﾞﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ	3前		1			1				
		ﾏﾘﾝｽﾎﾟｰﾂ理論・実習	2前		3		1	0				
		ｳｫｰﾀｰｾｰﾌﾃｨｰ理論・実習	3前		3		1	0				
		ｷｬﾝﾌﾟ理論・実習	3前		3					1		
		ｺﾞﾙﾌ理論・実習	3前		3							1
		ｽｷｰ理論・実習	2後		3							1
		ｽｹｰﾄ理論・実習	3通		3		1					
		地域福祉と社会教育	4後		2							1
		社会教育計画Ⅱ	3後		2							1
		社会教育演習Ⅰ(実習を含む)	3前		2		1					
		社会教育演習Ⅱ(実習を含む)	3後		2		1					
		予防医学	4後		2							1
		健康管理学	4後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ経営管理学	3前		2							1
		教育原理	1前		2							1
		教育心理学	2後		2							1
		体育科教育法	2後		2							1
		保健科教育法	2後		2							1
		道徳教育の指導法	2前		2							1
		特別活動の指導法	2後		2							1
		学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2後		2							1
		人権教育	3後		2							1
		学校安全(救急処置を含む)	3後		2							1
		教育の方法と技術	3前		2							1
		教師論	1後		2							1
		教育の制度と経営	3前		2							1
		教育課程論	3前		2							1
		教育相談(ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞを含む)	3後		2							1
		体育科教育実践法	3後		1							1
		保健科教育実践法	3後		1							1
		ｽﾎﾟｰﾂ実践指導法・陸上競技	3前		1							1
		小計(43科目)	―	0	76	0	6	1	0	1	0	22
	資格関連科目	生徒指導論(進路指導を含む)	3後			2						1
		教職実践演習	4後			2						1
		教育実習	4前			4						1
		事前事後の指導	4前			1						1
		小計(4科目)	―	0	0	9	0	0	0	0	0	3
	関連科目	航空基礎(未開講)	1前			2						1
		航空概論(未開講)	1後			2						1
		航空産業論	2前			2						1
		ｸﾙｰ・ﾘｿｰｽ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	2後			2						1
		飛行安全	2後			2						1
		小計(5科目)	―	0	0	10	0	0	0	0	0	1
合計(146科目)			―	57	156	39	9	1	0	2	0	71

卒業要件及び履修方法

＜学部共通科目＞の【教養科目】必修から6単位、選択1から6単位以上、選択2から4単位以上、【総合教育科目】必修1から2単位、必修2から7単位、必修3から2単位、選択1から1単位以上、選択2から1単位以上、＜学部専門(理論)科目＞【基幹科目】から必修科目8単位、選択から6単位以上、【展開科目】選択1から10単位以上、選択2から1単位以上、＜学部専門(体育実技)科目＞【展開科目】必修1から6単位、必修2から2単位、選択から1単位以上、小計63単位以上修得し、＜学科基礎科目＞の【基幹科目】必修から8単位、【展開科目】必修から12単位、小計20単位以上修得し、＜学科専門科目＞の【基幹(理論)科目】必修から4単位、【基幹(実践)科目】選択から3単位以上、【展開(理論)科目】選択から8単位以上、【展開(実践)科目】選択1から2単位以上、選択2から5単位以上、選択3から6単位以上、選択4から2単位以上、選択5から11単位以上、小計41単位以上修得し、合わせて124単位以上修得すること。
(履修単位の年間登録の上限:44単位(年間))

科目区分	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
学科専門科目	展開（実践）科目	生涯ｽﾎﾟｰﾂ演習	2前		1							1
		異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ演習	3後		1		1					
		社会調査演習	3後		1		1					
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ	2後		1							1
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅱ	3後		1							1
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅰ	2前		1			1				
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅱ	4後		1			1				
		野外活動実技	3前		1					1		
		ﾈｲﾁｬｰｹﾞｰﾑ	3前		1					1		
		専門運動方法(ｱｰﾁｪﾘｰ)	4前		1		1					
		ｽﾀｼﾞｵｴｸｻｻｲｽﾞ	3後		1							1
		専門運動方法(ｺﾞﾙﾌ)	4後		1							1
		ﾛｰｵｰｶﾞﾅｲｽﾞﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ	3前		1			1				
		ﾏﾘﾝｽﾎﾟｰﾂ理論・実習	2前		3		1	0				
		ｳｫｰﾀｰｾｰﾌﾃｨｰ理論・実習	3前		3		1	0				
		ｷｬﾝﾌﾟ理論・実習	3前		3					1		
		ｺﾞﾙﾌ理論・実習	3前		3							1
		ｽｷｰ理論・実習	2後		3							1
		ｽｹｰﾄ理論・実習	3通		3		1					
		地域福祉と社会教育	4後		2							1
		社会教育計画Ⅱ	3後		2							1
		社会教育演習Ⅰ(実習を含む)	3前		2		1					
		社会教育演習Ⅱ(実習を含む)	3後		2		1					
		予防医学	4後		2							1
		健康管理学	4後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ経営管理学	3前		2							1
		教育原理	1前		2							1
		教育心理学	2後		2							1
		体育科教育法	2後		2							1
		保健科教育法	2後		2							1
		道徳教育の指導法	2前		2							1
		特別活動の指導法	2後		2							1
		学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2後		2							1
		人権教育	3後		2							1
		学校安全(救急処置を含む)	3後		2							1
		教育の方法と技術	3前		2							1
		教師論	1後		2							1
		教育の制度と経営	3前		2							1
		教育課程論	3前		2							1
		教育相談(ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞを含む)	3後		2							1
		体育科教育実践法	3後		1							1
		保健科教育実践法	3後		1							1
		ｽﾎﾟｰﾂ実践指導法・陸上競技	3前		1							1
		小計(43科目)	―	0	76	0	6	1	0	1	0	22
	資格関連科目	生徒指導論(進路指導を含む)	3後			2						1
		教職実践演習	4後			2						1
		教育実習	4前			4						1
		事前事後の指導	4前			1						1
		小計(4科目)	―	0	0	9	0	0	0	0	0	3
	関連科目	航空基礎	1前			2						1
		航空概論	1後			2						1
		航空産業論	2前			2						1
		ｸﾙｰ・ﾘｿｰｽ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	2後			2						1
		飛行安全	2後			2						1
		小計(5科目)	―	0	0	10	0	0	0	0	0	1
合計(146科目)			―	57	156	39	9	1	0	2	0	75

卒業要件及び履修方法

＜学部共通科目＞の【教養科目】必修から6単位、選択1から6単位以上、選択2から4単位以上、【総合教育科目】必修1から2単位、必修2から7単位、必修3から2単位、選択1から1単位以上、選択2から1単位以上、＜学部専門(理論)科目＞【基幹科目】から必修科目8単位、選択から6単位以上、【展開科目】選択1から10単位以上、選択2から1単位以上、＜学部専門(体育実技)科目＞【展開科目】必修1から6単位、必修2から2単位、選択から1単位以上、小計63単位以上修得し、＜学科基礎科目＞の【基幹科目】必修から8単位、【展開科目】必修から12単位、小計20単位以上修得し、＜学科専門科目＞の【基幹(理論)科目】必修から4単位、【基幹(実践)科目】選択から3単位以上、【展開(理論)科目】選択から8単位以上、【展開(実践)科目】選択1から2単位以上、選択2から5単位以上、選択3から6単位以上、選択4から2単位以上、選択5から11単位以上、小計41単位以上修得し、合わせて124単位以上修得すること。
(履修単位の年間登録の上限:44単位(年間))

【令和２年度】

科目区分	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
学部共通科目	教養科目	国語表現Ⅰ	1前	1								1
		国語表現Ⅱ	2前	1								1
		基礎英語Ⅰ	1前	1								1
		基礎英語Ⅱ	1後	1								1
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	2前	1								1
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	2後	1								1
		哲学	1前		2							1
		法学(日本国憲法)	1後		2		1					
		心理学	1後		2							1
		芸術(音楽)	1後		2							1
		情報処理(情報機器の操作を含む)	1前		2							1
		社会学	2前		2							1
		歴史学	2後		2							1
		経済学	2前		2							1
		統計学	2後		2							1
		生命科学	2前		2							1
		海外語学研修	1後			2						1
		応用英語	1通			2						1
		ﾄﾞｲﾂ語	1通			2						1
		ﾌﾗﾝｽ語	1通			2	1					
		中国語	1通			2						1
		ｺﾘｱ語	1通			2						1
		小計(22科目)	―	6	20	12	2	0	0	0	0	16
	総合教育科目	日体大の歴史(日体伝統実習を含む)	1前	2								1
		体育研究発表実演会	1後			1						1
		ｽﾎﾟｰﾂと組織	2後			2						1
		海浜実習	2前		1							1
		ｷｬﾝﾌﾟ実習	2前		1					1		
		ｽｷｰ実習	3後		1							1
		ｽｹｰﾄ実習	3後		1		1					
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究A	1前	2								2
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B	2後	1								2
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C	3通	2			9	1		2		
		ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D	4通	2			9	1		2		
		卒業研究	4通			2	9	1		2		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝA	2後	2								1
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝB	3前			2						1
		ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ(事前・事後指導を含む)	2後			1						1
		小計(15科目)	―	11	4	8	9	1	0	2	0	10
学部専門(理論)科目	基幹科目	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論	1前	2								1
		ｽﾎﾟｰﾂ社会学	3後	2			1					
		ｽﾎﾟｰﾂ政策学	2前	2								1
		ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ	1後	2			1					2
		ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論	2前		2		1					
		情報ﾘﾃﾗｼｰ	1前		2							1
		地域社会とｽﾎﾟｰﾂ	1後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ論	4後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ法学	3前		2		1					
		ｽﾎﾟｰﾂ経済学	2後		2							1
		小計(10科目)	―	8	12	0	3	0	0	0	0	5

科目区分	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
学部専門(理論)科目	展開科目	ｽﾎﾟｰﾂ哲学	1後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ史	2後		2							1
		機能解剖学	1後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ生理学	2後		2							1
		発育発達論	1後		2							1
		ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ学	2前		2		1					
		ｽﾎﾟｰﾂ栄養学(食品学を含む)	2前		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ医学	2後		2							2
		ｽﾎﾟｰﾂ心理学	3後		2							1
		衛生学・公衆衛生学(運動衛生学を含む)	1後		2							1
		救急処置実習	2後		1		1	0				
		ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ実践演習	2後		1							2
		小計(12科目)	―	0	22	0	2	0	0	0	0	11

学部専門（体育実技）科目	展開科目	運動方法・体つくり運動(体操)	1前	1								1
		運動方法・器械運動	1後	1								2
		運動方法・陸上競技	1前	1								2
		運動方法・水泳	1前	1								5
		運動方法・ソフトボール(野球を含む)	1後	1						1		1
		運動方法・ダンス(フォークダンスを含む)	1後	1								2
		運動方法・球技A	1後	1			1					2
		運動方法・球技B	1前	1								1
		運動方法・武道(柔道)	1後		1							2
		運動方法・武道(剣道)	1後		1							1
		運動方法・武道(相撲)	1前		1							1
		小計（11科目）	―	8	3	0	1	0	0	1	0	20
学科基礎科目	基幹科目	スポーツライフマネジメント概論	1前	2			1					
		野外教育概論	1前	2						1		
		レクリエーション概論	2前	2				1				
		障害者スポーツ論Ⅰ	2前	2								1
		小計（4科目）	―	8		0	1	1	0	1	0	1
	展開科目	野外活動論	1後	2			1			0		
		スポーツ行政	1前	2								1
		ファシリティマネジメント論	3後	2								1
		現代の子どもと社会教育	3後	2			0					1
		生涯学習概論Ⅰ	1前	2			0					1
		レジャーマネジメント論	3前	2								1
		小計（6科目）	―	12	0	0	1	0	0	0	0	4
学科専門科目	基幹（理論）科目	社会教育計画Ⅰ	2前	2								1
		スポーツとまちづくり	3後	2								1
		小計（2科目）	―	4	0	0	0	0	0	0	0	2
	基幹（実践）科目	地域スポーツ演習	3前		1		1					1
		地域ボランティア実習(事前・事後指導を含む)	3後		1		1					1
		障害者スポーツ現場実習	2通		1							1
		レクリエーション現場実習	3通		1			1				
		野外活動現場実習	3通		1		2	0		1		2
		小計（5科目）	―	0	5	0	3	1	0	1	0	4
	展開（理論）科目	野外活動計画論	3前		2		1					
		野外活動と環境	3前		2		1					
		野外活動における安全管理	3前		2		1	0				
		社会調査論	3前		2		0					1
		障害概論	1前		2							1
		障害者スポーツ論Ⅱ	2後		2							1
		生涯学習概論Ⅱ	2後		2		1					
		小計（7科目）	―	0	14	0	3	0	0	0	0	2

科目区分	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科専門科目	展開（実践）科目	生涯ｽﾎﾟｰﾂ演習	2前		1							1
		異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ演習	3後		1		1					
		社会調査演習	3後		1		1					
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ	2後		1							1
		障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅱ	3後		1							1
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅰ	2前		1			1				
		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅱ	4後		1			1				
		野外活動実技	3前		1					1		
		ﾈｲﾁｬｰｹﾞｰﾑ	3前		1					1		
		専門運動方法(ｱｰﾁｪﾘｰ)	4前		1		1					
		ｽﾀｼﾞｵｴｸｻｻｲｽﾞ	3後		1							1
		専門運動方法(ｺﾞﾙﾌ)	4後		1							1
		ﾛｰｵｰｶﾞﾅｲｽﾞﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ	3前		1			1				
		ﾏﾘﾝｽﾎﾟｰﾂ理論・実習	2前		3		1	0				
		ｳｫｰﾀｰｾｰﾌﾃｨｰ理論・実習	3前		3		1	0				
		ｷｬﾝﾌﾟ理論・実習	3前		3					1		
		ｺﾞﾙﾌ理論・実習	3前		3							1
		ｽｷｰ理論・実習	2後		3							1
		ｽｹｰﾄ理論・実習	3通		3		1					
		地域福祉と社会教育	4後		2							1
		社会教育計画Ⅱ	3後		2							1
		社会教育演習Ⅰ(実習を含む)	3前		2		1					
		社会教育演習Ⅱ(実習を含む)	3後		2		1					
		予防医学	4後		2							1
		健康管理学	4後		2							1
		ｽﾎﾟｰﾂ経営管理学	3前		2							1
		教育原理	1前		2							1
		教育心理学	2後		2							1
		体育科教育法	2後		2							1
		保健科教育法	2後		2							1
		道徳教育の指導法	2前		2							1
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2後		2							1
		学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2後		2							1
		人権教育	3後		2							1
		学校安全(救急処置を含む)	3後		2							1
		教育の方法と技術	3前		2							1
		教師論	1後		2							1
		教育の制度と経営	3前		2							1
		教育課程論	3前		2							1
		教育相談(ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞを含む)	3後		2							1
		体育科教育実践法	3後		1							1
		保健科教育実践法	3後		1							1
		ｽﾎﾟｰﾂ実践指導法・陸上競技	3前		1							1
		小計(43科目)	―	0	76	0	6	1	0	1	0	24
	資格関連科目	生徒指導論(進路指導を含む)	3後			2						1
		教職実践演習	4後			2						1
		教育実習	4前			4						1
		事前事後の指導	4前			1						1
		小計(4科目)	―	0	0	9	0	0	0	0	0	3
	関連科目	航空基礎	1前			2						1
		航空概論	1後			2						1
		航空産業論(未開講)	2前			2						1
		ｸﾙｰ・ﾘｿｰｽ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ(未開講)	2後			2						1
		飛行安全(未開講)	2後			2						1
		小計(5科目)	―	0	0	10	0	0	0	0	0	1
合計(146科目)			―	57	156	39	9	1	0	2	0	78

卒業要件及び履修方法

＜学部共通科目＞の【教養科目】必修から6単位、選択1から6単位以上、選択2から4単位以上、【総合教育科目】必修1から2単位、必修2から7単位、必修3から2単位、選択1から1単位以上、選択2から1単位以上、＜学部専門(理論)科目＞【基幹科目】から必修科目8単位、選択から6単位以上、【展開科目】選択1から10単位以上、選択2から1単位以上、＜学部専門(体育実技)科目＞【展開科目】必修1から6単位、必修2から2単位、選択から1単位以上、小計63単位以上修得し、＜学科基礎科目＞の【基幹科目】必修から8単位、【展開科目】必修から12単位、小計20単位以上修得し、＜学科専門科目＞の【基幹(理論)科目】必修から4単位、【基幹(実践)科目】選択から3単位以上、【展開(理論)科目】選択から8単位以上、【展開(実践)科目】選択1から2単位以上、選択2から5単位以上、選択3から6単位以上、選択4から2単位以上、選択5から11単位以上、小計41単位以上修得し、合わせて124単位以上修得すること。
(履修単位の年間登録の上限:44単位(年間))

（注）・　報告年度の5月１日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成３０年度】

・教育指導体制充実のため「基礎英語Ⅱ」の兼任、兼担教員を「兼1」から「兼2」に変更。
・専任教員の職位変更により、「スポーツマネジメント研究C」の教員配置を「教授8、准教授2、助教2」から「教授9、准教授1、助教2」に変更。
・専任教員の職位変更により、「スポーツマネジメント研究D」の教員配置を「教授8、准教授2、助教2」から「教授9、准教授1、助教2」に変更。
・専任教員の職位変更により、「卒業研究」の教員配置を「教授8、准教授2、助教2」から「教授9、准教授1、助教2」に変更。
・上記理由により、総合教育科目の専任教員等の配置を「教授8」から「教授9」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
・専任教員の職位変更により、「救急処置実習」の教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・上記理由により、展開科目の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・教育指導体制充実のため「運動方法・器械運動」の兼任、兼担教員を「兼1」から「兼3」に変更。
・教育指導体制充実のため「運動方法・水泳」の兼任、兼担教員を「兼1」から「兼4」に変更。
・教育指導体制充実のため「運動方法・ソフトボール（野球を含む）」の兼任、兼担教員を追加し、「兼1」に変更。
・教育指導体制充実のため「運動方法・ダンス（フォークダンスを含む）」の兼任、兼担教員を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育指導体制充実のため「運動方法・球技A」の兼任、兼担教員を追加し、「兼1」に変更。
・上記理由により、展開科目の兼担・兼任教員数を「兼9」から「兼17」に変更。
・時間割の都合による教員変更のため「野外活動論」の教員配置を「助教1」から「教授1」に変更。
・時間割の都合による教員変更のため「生涯学習概論Ⅰ」の教員配置を「兼1」から「教授1」に変更。
・上記理由により、展開科目の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「助教1」から「助教0」、兼担・兼任教員数を「兼4」から「兼3」に変更。
・専任教員の職位変更により、「野外活動現場実習」の教員配置を「教授1、准教授1、助教1、兼2」から「教授2、助教1、兼2」に変更。
・上記理由により、基幹（実践）科目の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
・専任教員の職位変更により、「野外活動における安全管理」の教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・上記理由により、展開（理論）科目の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・専任教員の職位変更により、「マリンスポーツ理論・実習」の教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・専任教員の職位変更により、「ウォーターセーフティー理論・実習」の教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・上記理由により、展開（実践）科目の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
・上記理由により、合計欄の専任教員等の配置を「教授8」から「教授9」、「准教授2」から「准教授1」、兼担・兼任教員数を「兼63」から「兼71」に変更。

【令和元年度】

・時間割の都合により、「基礎英語Ⅱ」の兼任・兼担教員数を「兼2」から「兼1」に変更。
・上記理由により、学部共通科目教養科目の兼任・兼担教員数を「兼15」から「兼16」に変更。
・時間割の都合により、「スポーツマネジメント研究B」の兼任・兼担教員数を「兼3」から「兼2」に変更。
・上記理由により、学部共通科目総合教育科目の兼任・兼担教員数を「兼10」から「兼9」に変更。
・教育指導体制充実のため「スポーツ医学」の兼任・兼担教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・時間割の都合により、「トレーニング実践演習」の兼任・兼担教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・上記理由により、学部専門（理論）科目展開科目の兼任・兼担教員数を「兼9」から「兼11」に変更。
・時間割の都合により、「運動方法･器械運動」の兼任・兼担教員数を「兼3」から「兼2」に変更。
・時間割の都合により、「運動方法･陸上競技」の兼任・兼担教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育指導体制充実のため「運動方法･水泳」の兼任・兼担教員数を「兼4」から「兼6」に変更。
・上記理由により、学部専門（体育実技）科目展開科目の兼任・兼担教員数を「兼17」から「兼19」に変更。
・上記理由により、合計欄の兼任・兼担教員数を「兼71」から「兼75」に変更。

【令和２年度】

・時間割の都合により、「ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝB」、「ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ(事前･事後指導を含む)」の担当教員変更のため、学部共通科目・総合教育科目の兼任・兼担教員数を「兼9」から「兼10」に変更。
・時間割の都合により、「運動方法･水泳」の兼任・兼担教員数を「兼6」から「兼5」に変更。
・時間割の都合により、「運動方法･球技A」の兼任・兼担教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・時間割の都合により、「運動方法･武道(柔道)」の兼任・兼担教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・上記の理由により、学部専門(体育実技)科目・展開科目の兼任・兼担教員数を「兼19」から「兼20」に変更。
・教育指導体制充実のため、「現代の子どもと社会教育」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担教員数を「兼0」から「兼1」に変更。
・時間割の都合により、「生涯学習概論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担教員数を「兼0」から「兼1」に変更。
・上記理由により、学科基礎科目・展開科目の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、兼任・兼担教員数を「兼3」から「兼4」に変更。
・時間割の都合により、「社会調査論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担教員数を「兼0」から「兼1」に変更。
・上記の理由により、学科専門科目･展開（理論）科目の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」、兼任・兼担教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・時間割の都合により、「社会教育計画Ⅱ」、「体育科教育実践法」の担当教員変更のため、学科専門科目・展開（実践）科目の兼任・兼担教員数を「兼22」から「兼24」に変更。
・上記理由により、合計欄の兼任・兼担教員数を「兼75」から「兼78」に変更。

【令和３年度】

・時間割の都合により、「運動方法･器械運動」の兼任・兼担教員数を「兼2」から「兼1」に変更。
・教育指導体制充実のため「運動方法･水泳」の兼任・兼担教員数を「兼5」から「兼6」に変更。
・時間割の都合により、「運動方法･ソフトボール（野球を含む）」の兼任・兼担教員数を「兼1」から「兼0」に変更。
・時間割の都合により、「運動方法･武道（柔道）」の兼任・兼担教員数を「兼2」から「兼1」に変更。
・上記の理由により、学部専門（体育実技）科目展開科目の兼担･兼任教員数を「兼20」から「兼18」に変更。
・担当教員1名の退職に伴い、「現代の子どもと社会教育」、「生涯学習概論I」それぞれ兼任を1名ずつ追加。科目の兼任・兼担教員数に変更は生じないが、学科基礎科目展開科目の兼任・兼担教員数は「兼4」から「兼5」に変更。
・時間割の都合により、「道徳教育の指導法」の担当者が変更。前任者は引き続き「教師論」担当教員のため、科目の兼任・兼担教員数に変更は生じないが、学科専門科目展開（実践）科目の兼任･兼担教員数は「兼24」から「兼25」に変更。
・時間割の都合により、「教育実習」の担当者が変更。科目の兼任・兼担教員数に変更は生じないが、資格関連科目の兼任･兼担教員数は「兼3」から「兼2」に変更。
・上記の理由により、合計欄の兼任・兼担教員数を「兼78」から「兼80」に変更。

（注）・　２（１）―① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
36 科目	90 科目	20 科目	146 科目	36 科目 [0]	90 科目 [0]	20 科目 [0]	146 科目 [0]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{146} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	126,410.53㎡ ~~128,229.52㎡~~	0㎡	0㎡	126,410.53㎡ ~~128,229.52㎡~~	
	運動場用地	84,055.66㎡ ~~82,236.67㎡~~ ~~81,228.24㎡~~	0㎡	0㎡	84,055.66㎡ ~~82,236.67㎡~~ ~~81,228.24㎡~~	ﾋﾞｰﾁﾊﾞﾚｰｺｰﾄ取得による増加（29）
	小計	210,466.19㎡ ~~209,457.76㎡~~	0㎡	0㎡	210,466.19㎡ ~~209,457.76㎡~~	ゴルフ教場による増減（H30）
	その他	56,867.13㎡ ~~60,790.13㎡~~	0㎡	0㎡	56,867.13㎡ ~~60,790.13㎡~~	寄宿舎施設の収益事業による財産以降のための減少（29）
	合計	267,333.32㎡ ~~270,247.89㎡~~	0㎡	0㎡	267,333.32㎡ ~~270,247.89㎡~~	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		6,789,792㎡ ~~68,314.75㎡~~ ~~62,587.26㎡~~ ~~62,764.09㎡~~ (68,314.75㎡) ~~(62,587.26㎡)~~ ~~(62,764.09㎡)~~	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	6,789,792㎡ ~~68,314.75㎡~~ ~~62,587.26㎡~~ ~~62,764.09㎡~~ (68,314.75㎡) ~~(62,587.26㎡)~~ ~~(62,764.09㎡)~~	クリニック開設等による減少（元） 横浜・健志台ｷｬﾝﾊﾟｽに保健医療学部ｷｭｱｾﾝﾀｰ開設により減少 8号館竣工等による増（H30）

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	74室 ~~78室~~ ~~59室~~	40室	66室 ~~60室~~	4室 （補助職員　1人）	0室 （補助職員　1人）	大学全体 8号館竣工による増（H30） ~~保健医療学研究科博士~~

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	
	大学全体	217室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	大学全体	522,103〔132,484〕 (521,809〔144,057〕) ~~(525,106〔144,813〕)~~ ~~(524,646〔143,851〕)~~ ~~(518,378〔143,583〕)~~ ~~(494,103〔127,284〕)~~	6,956〔1,369〕 (18,910〔11,678〕) ~~(18,421〔11,276〕)~~ ~~(17,764〔10,739〕)~~ ~~(17,669〔10,763〕)~~ ~~(6,956〔1,369〕)~~	9,906〔8,230〕 (11,823〔10,292〕) ~~(11,348〔9,890〕)~~ ~~(10,71〔9,354〕)~~ ~~(10,66〔9,381〕)~~ ~~(9,906〔8,230〕)~~	54,100 (54,100)	27,316 (29,417) ~~27,316~~	267 (354) ~~267~~	図書は除却冊数が購入冊数を上回り減、雑誌は契約数変更のため（R3）雑誌契約数の変更のため（R2）図書購入及び寄贈増、雑誌契約数の変更のため（元）図書購入及び寄贈増のため（30）
	計	522,103〔132,484〕 (521,809〔144,057〕) ~~(525,106〔144,813〕)~~ ~~(524,646〔143,851〕)~~ ~~(518,378〔143,583〕)~~ ~~(494,103〔127,284〕)~~	6,956〔1,369〕 (18,910〔11,678〕) ~~(18,421〔11,276〕)~~ ~~(17,764〔10,739〕)~~ ~~(17,669〔10,763〕)~~ ~~(6,956〔1,369〕)~~	9,906〔8,230〕 (11,823〔10,292〕) ~~(11,348〔9,890〕)~~ ~~(10,71〔9,354〕)~~ ~~(10,66〔9,381〕)~~ ~~(9,906〔8,230〕)~~	54,100 (54,100)	27,316 (29,417) ~~27,316~~	267 (354) ~~267~~	機械・器具、標本増加分を追加

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数
	3,128㎡	726席 ~~711席~~	562,000冊

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要
	42,796.15㎡	野球場、サッカー場、ラグビー場、陸上競技場、温水プール

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	
経費の見積り	教員１人当り研究費等	750千円	750千円	図書購入費	2,800千円	2,800千円	2,800千円	図書購入費には電子ジャーナル、データベースの整備費（運用コスト含む。）を含む
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,560千円	1,260千円	1,260千円	1,260千円	千円	千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和３年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	日本体育大学						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
≪ＡＣ対象学部等≫											
体育学部											
体育学科	4	750	－	3000	学士（体育学）	1.03	1.06	平成28年度	昭和24年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	平成28年度入学定員増（620→750）
健康学科	4	195	－	780	学士（体育学）	0.97	0.87	平成28年度	昭和37年度		平成28年度入学定員増（160→195）
武道学科	4	－	－	－	学士（体育学）	－	－		昭和40年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	平成29年度より学生募集停止
社会体育学科	4	－	－	－	学士（体育学）	－	－		昭和50年度		平成30年度より学生募集停止
スポーツ文化学部											
武道教育学科	4	100	－	400	学士（体育学）	0.99	0.88		平成29年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
スポーツ国際学科	4	100	－	400	学士（体育学）	1.01	0.86		平成29年度	同上	
スポーツマネジメント学部											
スポーツマネジメント学科	4	145	－	580	学士（体育学）	1.05	1.06		平成30年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	
スポーツライフマネジメント学科	4	110	－	440	学士（体育学）	1.02	1.05		平成30年度	同上	
児童スポーツ教育学部											
児童スポーツ教育学科											
児童スポーツ教育コース	4	150	－	600	学士（児童スポーツ教育学）	0.99	0.78		平成25年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
幼児教育保育コース	4	50	－	200	学士（児童スポーツ教育学）	0.99	0.92		平成25年度	同上	
保健医療学部											
整復医療学科	4	90	－	360	学士（整復医療学）	1.06	1.08		平成26年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	
救急医療学科	4	80	－	320	学士（救急医療学）	1.02	1.07		平成26年度	同上	
大学全体	－	1770	－	7080	－	－	－	－	－	－	

大学の名称	日本体育大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	3	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
体育科学研究科											
体育科学専攻（博士前期課程）	2	25	－	50	修士（体育科学）	1.16	1.28		昭和50年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
体育科学専攻（博士後期課程）	3	6	－	18	博士（体育科学）	2.58	3.00		平成9年度	同上	
コーチング学専攻（博士前期課程）	2	12	－	24	修士（体育科学）	1.53	1.41		平成30年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
コーチング学専攻（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（体育科学）	1.16	1.66		平成30年度	同上	
教育学研究科											
実践教科教育学専攻（博士前期課程）	2	20	－	40	修士（教育学）	0.22	0.20		平成29年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
実践教科教育学専攻（博士後期課程）	3	5	－	15	修士（教育学）	0.80	0.60		平成29年度	同上	
保健医療学研究科											
保健医療学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士（柔道整復学） 修士（救急災害医療学）	0.93	1.12		平成30年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	
運動器柔道整復学専攻（博士課程）	3	2	－	4	博士（柔道整復学）	1.00	1.00		令和2年度	同上	
救急災害医療学専攻（博士課程）	3	2	－	4	博士（救急災害医療学）	1.50	2.00		令和2年度	同上	
大学院全体	－	83	－	180	－	－	－	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和３年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　教員組織の状況

＜スポーツマネジメント学部　スポーツライフマネジメント学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	依田　充代 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	ｽﾎﾟｰﾂ社会学 ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ 社会調査論 社会調査演習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	上田　幸夫 () ＜平成30年4月＞ 教育学修士	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論 現代の子どもと社会教育 生涯学習概論Ⅱ 社会教育演習Ⅰ（実習を含む） 社会教育演習Ⅱ（実習を含む） ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	西尾　末広 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	運動方法･球技A ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	野村　一路 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	ｽﾎﾟｰﾂﾗｲﾌﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	山本　博 () ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	専門運動方法（ｱｰﾁｪﾘｰ） ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	西村　拓也 () ＜平成30年4月＞ 一般言語学博士（ﾌﾗﾝｽ）	ﾌﾗﾝｽ語 地域ｽﾎﾟｰﾂ演習 地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習（事前・事後指導を含む） 異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ演習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	清水　雅彦 () ＜平成30年4月＞ 修士（法学）※	法学（日本国憲法） ｽﾎﾟｰﾂ法学 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	青柳　徹 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	ｽｹｰﾄ実習 ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ学 野外活動現場実習 野外活動計画論 野外活動と環境 ｽｹｰﾄ理論･実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	准教授	馬場　進一郎 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ概論 ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ現場実習 ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅰ ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅱ ﾛｰｵｰｶﾞﾅｲｽﾞﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	依田　充代 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	ｽﾎﾟｰﾂ社会学 ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ 社会調査論 社会調査演習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	上田　幸夫 () ＜平成30年4月＞ 教育学修士	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論 現代の子どもと社会教育 生涯学習概論Ⅱ 社会教育演習Ⅰ（実習を含む） 社会教育演習Ⅱ（実習を含む） ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究 **生涯学習概論Ⅰ**
専	教授	西尾　末広 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	運動方法･球技A ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	野村　一路 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	ｽﾎﾟｰﾂﾗｲﾌﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	山本　博 () ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	専門運動方法（ｱｰﾁｪﾘｰ） ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	西村　拓也 () ＜平成30年4月＞ 一般言語学博士（ﾌﾗﾝｽ）	ﾌﾗﾝｽ語 地域ｽﾎﾟｰﾂ演習 地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習（事前・事後指導を含む） 異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ演習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	清水　雅彦 () ＜平成30年4月＞ 修士（法学）※	法学（日本国憲法） ｽﾎﾟｰﾂ法学 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	青柳　徹 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	ｽｹｰﾄ実習 ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ学 野外活動現場実習 野外活動計画論 野外活動と環境 ｽｹｰﾄ理論･実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	准教授	馬場　進一郎 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ概論 ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ現場実習 ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅰ ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅱ ﾛｰｵｰｶﾞﾅｲｽﾞﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	依田　充代 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	ｽﾎﾟｰﾂ社会学 ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ 社会調査論 社会調査演習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	上田　幸夫 () ＜平成30年4月＞ 教育学修士	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論 現代の子どもと社会教育 生涯学習概論Ⅱ 社会教育演習Ⅰ（実習を含む） 社会教育演習Ⅱ（実習を含む） ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究 **生涯学習概論Ⅰ**
専	教授	西尾　末広 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	運動方法･球技A ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	野村　一路 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	ｽﾎﾟｰﾂﾗｲﾌﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	山本　博 () ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	専門運動方法（ｱｰﾁｪﾘｰ） ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	西村　拓也 () ＜平成30年4月＞ 一般言語学博士（ﾌﾗﾝｽ）	ﾌﾗﾝｽ語 地域ｽﾎﾟｰﾂ演習 地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習（事前・事後指導を含む） 異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ演習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	清水　雅彦 () ＜平成30年4月＞ 修士（法学）※	法学（日本国憲法） ｽﾎﾟｰﾂ法学 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	青柳　徹 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	ｽｹｰﾄ実習 ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ学 野外活動現場実習 野外活動計画論 野外活動と環境 ｽｹｰﾄ理論･実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	准教授	馬場　進一郎 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ概論 ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ現場実習 ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅰ ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅱ ﾛｰｵｰｶﾞﾅｲｽﾞﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	依田　充代 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	ｽﾎﾟｰﾂ社会学 ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ **社会調査論** 社会調査演習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	上田　幸夫 () ＜平成30年4月＞ 教育学修士	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論 **現代の子どもと社会教育** 生涯学習概論Ⅱ 社会教育演習Ⅰ（実習を含む） 社会教育演習Ⅱ（実習を含む） ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究 **~~生涯学習概論Ⅰ~~**
専	教授	西尾　末広 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	運動方法･球技A ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	野村　一路 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	ｽﾎﾟｰﾂﾗｲﾌﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	山本　博 () ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	専門運動方法（ｱｰﾁｪﾘｰ） ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	西村　拓也 () ＜平成30年4月＞ 一般言語学博士（ﾌﾗﾝｽ）	ﾌﾗﾝｽ語 地域ｽﾎﾟｰﾂ演習 地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習（事前・事後指導を含む） 異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ演習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	清水　雅彦 () ＜平成30年4月＞ 修士（法学）※	法学（日本国憲法） ｽﾎﾟｰﾂ法学 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	青柳　徹 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	ｽｹｰﾄ実習 ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ学 野外活動現場実習 野外活動計画論 野外活動と環境 ｽｹｰﾄ理論･実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	准教授	馬場　進一郎 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ概論 ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ現場実習 ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅰ ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅱ ﾛｰｵｰｶﾞﾅｲｽﾞﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	依田　充代 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	ｽﾎﾟｰﾂ社会学 ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ **社会調査論** 社会調査演習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	上田　幸夫 () ＜平成30年4月＞ 教育学修士	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論 **現代の子どもと社会教育** 生涯学習概論Ⅱ 社会教育演習Ⅰ（実習を含む） 社会教育演習Ⅱ（実習を含む） ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究 **~~生涯学習概論Ⅰ~~**
専	教授	西尾　末広 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	運動方法･球技A ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	野村　一路 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	ｽﾎﾟｰﾂﾗｲﾌﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	山本　博 () ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	専門運動方法（ｱｰﾁｪﾘｰ） ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	西村　拓也 () ＜平成30年4月＞ 一般言語学博士（ﾌﾗﾝｽ）	ﾌﾗﾝｽ語 地域ｽﾎﾟｰﾂ演習 地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習（事前・事後指導を含む） 異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ演習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	清水　雅彦 () ＜平成30年4月＞ 修士（法学）※	法学（日本国憲法） ｽﾎﾟｰﾂ法学 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	教授	青柳　徹 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	ｽｹｰﾄ実習 ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ学 野外活動現場実習 野外活動計画論 野外活動と環境 ｽｹｰﾄ理論･実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	准教授	馬場　進一郎 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ概論 ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ現場実習 ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅰ ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実技Ⅱ ﾛｰｵｰｶﾞﾅｲｽﾞﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	小泉　和史 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育科学）	救急処置実習 野外活動現場実習 野外活動における安全管理 ﾏﾘﾝｽﾎﾟｰﾂ理論・実習 ｳｫｰﾀｰｾｰﾌﾃｨｰ理論・実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	助教	古城　隆利 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育科学）	運動方法・ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ(野球を含む) ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	助教	高荷　英久 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育科学）※	野外教育概論 野外活動論 野外活動現場実習 野外活動実技 ﾈｲﾁｬｰｹﾞｰﾑ ｷｬﾝﾌﾟ理論・実習 ｷｬﾝﾌﾟ実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
兼担	教授	石井　隆憲 () ＜平成30年4月＞ 博士（社会学）	日体大の歴史(日体伝統実習を含む) 体育研究発表実演会 ｽﾎﾟｰﾂ史
兼担	教授	本間　啓二 () ＜平成32年4月＞ 体育学士	保健科教育実践法 教職実践演習 事前事後の指導
兼担	教授	石井　隆士 () ＜平成30年4月＞ 体育学士	運動方法・陸上競技 ｽﾎﾟｰﾂ実践指導法・陸上競技
兼担	教授	齊藤　隆志 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究A ﾌｧｼﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論
兼担	准教授	松瀬　学 () ＜平成30年4月＞ 修士（スポーツ科学）	情報ﾘﾃﾗｼｰ
兼担	准教授	日比野　幹生 () ＜平成30年4月＞ 修士（スポーツ科学）	ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ ｽﾎﾟｰﾂ政策学 地域社会とｽﾎﾟｰﾂ ｽﾎﾟｰﾂｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ論 ｽﾎﾟｰﾂ行政 地域ｽﾎﾟｰﾂ演習 地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習(事前・事後指導を含む)
兼担	准教授	竹腰　誠 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	ｽｷｰ実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究A ﾚｼﾞｬｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論 野外活動現場実習 生涯ｽﾎﾟｰﾂ演習 ｽｷｰ理論・実習
兼担	准教授	森井　大治 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	運動方法・球技B
兼担	准教授	石上　秀昭 () ＜平成31年4月＞ 修士（経済学）※	経済学 ｽﾎﾟｰﾂ経済学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	**教授**	小泉　和史 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育科学）	救急処置実習 野外活動現場実習 野外活動における安全管理 ﾏﾘﾝｽﾎﾟｰﾂ理論・実習 ｳｫｰﾀｰｾｰﾌﾃｨｰ理論・実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究 **野外活動論**
専	助教	古城　隆利 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育科学）	運動方法・ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ(野球を含む) ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	助教	高荷　英久 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育科学）※	野外教育概論 **野外活動論** 野外活動現場実習 野外活動実技 ﾈｲﾁｬｰｹﾞｰﾑ ｷｬﾝﾌﾟ理論・実習 ｷｬﾝﾌﾟ実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
兼担	教授	石井　隆憲 () ＜平成30年4月＞ 博士（社会学）	日体大の歴史(日体伝統実習を含む) 体育研究発表実演会 ｽﾎﾟｰﾂ史
兼担	教授	本間　啓二 () ＜平成32年4月＞ 体育学士	保健科教育実践法 教職実践演習 事前事後の指導
兼担	教授	石井　隆士 () ＜平成30年4月＞ 体育学士	運動方法・陸上競技 ｽﾎﾟｰﾂ実践指導法・陸上競技
兼担	教授	齊藤　隆志 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究A ﾌｧｼﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論
兼担	准教授	松瀬　学 () ＜平成30年4月＞ 修士（スポーツ科学）	情報ﾘﾃﾗｼｰ
兼担	准教授	日比野　幹生 () ＜平成30年4月＞ 修士（スポーツ科学）	ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ ｽﾎﾟｰﾂ政策学 地域社会とｽﾎﾟｰﾂ ｽﾎﾟｰﾂｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ論 ｽﾎﾟｰﾂ行政 地域ｽﾎﾟｰﾂ演習 地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習(事前・事後指導を含む)
兼担	准教授	竹腰　誠 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	ｽｷｰ実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究A ﾚｼﾞｬｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論 野外活動現場実習 生涯ｽﾎﾟｰﾂ演習 ｽｷｰ理論・実習
兼担	准教授	森井　大治 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	運動方法・球技B
兼担	准教授	石上　秀昭 () ＜平成31年4月＞ 修士（経済学）※	経済学 ｽﾎﾟｰﾂ経済学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	**教授**	小泉　和史 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育科学）	救急処置実習 野外活動現場実習 野外活動における安全管理 ﾏﾘﾝｽﾎﾟｰﾂ理論・実習 ｳｫｰﾀｰｾｰﾌﾃｨｰ理論・実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究 **野外活動論**
専	助教	古城　隆利 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育科学）	運動方法・ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ(野球を含む) ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	助教	高荷　英久 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育科学）※	野外教育概論 **野外活動論** 野外活動現場実習 野外活動実技 ﾈｲﾁｬｰｹﾞｰﾑ ｷｬﾝﾌﾟ理論・実習 ｷｬﾝﾌﾟ実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
兼担	教授	石井　隆憲 () ＜平成30年4月＞ 博士（社会学）	日体大の歴史(日体伝統実習を含む) 体育研究発表実演会 ｽﾎﾟｰﾂ史
兼担	教授	本間　啓二 () ＜平成32年4月＞ 体育学士	保健科教育実践法 教職実践演習 事前事後の指導
兼担	教授	石井　隆士 () ＜平成30年4月＞ 体育学士	運動方法・陸上競技 ｽﾎﾟｰﾂ実践指導法・陸上競技
兼担	教授	齊藤　隆志 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究A ﾌｧｼﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論
兼担	准教授	松瀬　学 () ＜平成30年4月＞ 修士（スポーツ科学）	情報ﾘﾃﾗｼｰ
兼担	**教授**	日比野　幹生 () ＜平成30年4月＞ 修士（スポーツ科学）	ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ ｽﾎﾟｰﾂ政策学 地域社会とｽﾎﾟｰﾂ ｽﾎﾟｰﾂｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ論 ｽﾎﾟｰﾂ行政 地域ｽﾎﾟｰﾂ演習 地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習(事前・事後指導を含む)
兼担	准教授	竹腰　誠 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	ｽｷｰ実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究A ﾚｼﾞｬｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論 野外活動現場実習 生涯ｽﾎﾟｰﾂ演習 ｽｷｰ理論・実習
兼担	准教授	森井　大治 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	運動方法・球技B
兼担	准教授	石上　秀昭 () ＜平成31年4月＞ 修士（経済学）※	経済学 ｽﾎﾟｰﾂ経済学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	**教授**	小泉　和史 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育科学）	救急処置実習 野外活動現場実習 野外活動における安全管理 ﾏﾘﾝｽﾎﾟｰﾂ理論・実習 ｳｫｰﾀｰｾｰﾌﾃｨｰ理論・実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究 **野外活動論**
専	助教	古城　隆利 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育科学）	運動方法・ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ(野球を含む) ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
専	助教	高荷　英久 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育科学）※	野外教育概論 **野外活動論** 野外活動現場実習 野外活動実技 ﾈｲﾁｬｰｹﾞｰﾑ ｷｬﾝﾌﾟ理論・実習 ｷｬﾝﾌﾟ実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究C ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究D 卒業研究
兼担	教授	石井　隆憲 () ＜平成30年4月＞ 博士（社会学）	**日体大の歴史(日体伝統実習を含む)** **体育研究発表実演会** **ｽﾎﾟｰﾂ史**
兼担	教授	本間　啓二 () ＜平成32年4月＞ 体育学士	**保健科教育実践法** 教職実践演習 事前事後の指導 **教育実習**
兼担	教授	石井　隆士 () ＜平成30年4月＞ 体育学士	運動方法・陸上競技 ｽﾎﾟｰﾂ実践指導法・陸上競技
兼担	教授	齊藤　隆志 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究A ﾌｧｼﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論 **社会調査論**
兼担	**教授**	松瀬　学 () ＜平成30年4月＞ 修士（スポーツ科学）	情報ﾘﾃﾗｼｰ
兼担	**教授**	日比野　幹生 () ＜平成30年4月＞ 修士（スポーツ科学）	**体育研究発表実演会** ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ ｽﾎﾟｰﾂ政策学 地域社会とｽﾎﾟｰﾂ ｽﾎﾟｰﾂｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ論 ｽﾎﾟｰﾂ行政 地域ｽﾎﾟｰﾂ演習 地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習(事前・事後指導を含む)
兼担	准教授	竹腰　誠 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	ｽｷｰ実習 ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究A ﾚｼﾞｬｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論 野外活動現場実習 生涯ｽﾎﾟｰﾂ演習 ｽｷｰ理論・実習
兼担	准教授	森井　大治 () ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	運動方法・球技B
兼担	准教授	石上　秀昭 () ＜平成31年4月＞ 修士（経済学）※	経済学 ｽﾎﾟｰﾂ経済学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	木原　祐二 () ＜平成32年4月＞ 学士（体育学）	野外活動現場実習 専門運動方法(ｺﾞﾙﾌ) ｺﾞﾙﾌ理論・実習
兼担	教授	坂口　正治 () ＜平成32年4月＞	ｽﾎﾟｰﾂとまちづくり
兼担	准教授	佐野　昌行 () ＜平成30年4月＞ 博士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論 ｽﾎﾟｰﾂ経営管理学
兼担	教授	スーザン・ミラー () ＜平成31年4月＞ Doctor of Philosophy(ｲｷﾞﾘｽ)	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ
兼担	教授	三好　仁司 () ＜平成30年4月＞ 文学士	道徳教育の指導法 教師論
兼担	教授	平沼　憲治 () ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	ｽﾎﾟｰﾂ医学
兼担	教授	後藤　彰 () ＜平成31年4月＞ 体育学士	体育科教育法 体育科教育実践法 教育実習
兼担	教授	成田　和穂 () ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ
兼担	教授	町田　輝雄 () ＜平成30年4月＞ 文学修士※	ﾄﾞｲﾂ語
兼担	助教	市川　純 () ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ
兼担	教授	世川　望 () ＜平成30年4月＞ 芸術学士	芸術(音楽)
兼担	教授	田中　信行 () ＜平成30年4月＞ 博士（学術）	障害概論 障害者ｽﾎﾟｰﾂ現場実習 障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅰ 障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅱ 障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ 障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅱ
兼担	教授	関根　正美 () ＜平成30年4月＞ 博士（体育科学）	哲学 ｽﾎﾟｰﾂ哲学
兼担	教授	津田　博子 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	運動方法・ﾀﾞﾝｽ(ﾌｫｰｸﾀﾞﾝｽを含む)
兼担	教授	齋藤　一雄 () ＜平成30年4月1日＞ 博士（医学）	運動方法・武道(相撲)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	木原　祐二 () ＜平成32年4月＞ 学士（体育学）	野外活動現場実習 専門運動方法(ｺﾞﾙﾌ) ｺﾞﾙﾌ理論・実習
兼担	准教授	佐野　昌行 () ＜平成30年4月＞ 博士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論 ｽﾎﾟｰﾂ経営管理学
兼担	教授	スーザン・ミラー () ＜平成31年4月＞ Doctor of Philosophy(ｲｷﾞﾘｽ)	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ
兼担	教授	三好　仁司 () ＜平成30年4月＞ 文学士	道徳教育の指導法 教師論
兼担	教授	平沼　憲治 () ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	ｽﾎﾟｰﾂ医学
兼担	教授	後藤　彰 () ＜平成31年4月＞ 体育学士	体育科教育法 体育科教育実践法 教育実習
兼担	教授	成田　和穂 () ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ
兼担	教授	町田　輝雄 () ＜平成30年4月＞ 文学修士※	ﾄﾞｲﾂ語 **応用英語**
兼担	助教	市川　純 () ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ **基礎英語Ⅰ** **基礎英語Ⅱ**
兼担	教授	世川　望 () ＜平成30年4月＞ 芸術学士	芸術(音楽)
兼担	教授	田中　信行 () ＜平成30年4月＞ 博士（学術）	障害概論 障害者ｽﾎﾟｰﾂ現場実習 障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅰ 障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅱ 障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ 障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅱ
兼担	教授	関根　正美 () ＜平成30年4月＞ 博士（体育科学）	哲学 ｽﾎﾟｰﾂ哲学
兼担	教授	津田　博子 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	運動方法・ﾀﾞﾝｽ(ﾌｫｰｸﾀﾞﾝｽを含む)
兼担	教授	齋藤　一雄 () ＜平成30年4月1日＞ 博士（医学）	運動方法・武道(相撲)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	木原　祐二 () ＜平成32年4月＞ 学士（体育学）	野外活動現場実習 専門運動方法(ｺﾞﾙﾌ) ｺﾞﾙﾌ理論・実習
兼担	准教授	佐野　昌行 () ＜平成30年4月＞ 博士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論 ｽﾎﾟｰﾂ経営管理学
兼担	教授	スーザン・ミラー () ＜平成31年4月＞ Doctor of Philosophy(ｲｷﾞﾘｽ)	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ
兼担	教授	三好　仁司 () ＜平成30年4月＞ 文学士	道徳教育の指導法 教師論
兼担	教授	平沼　憲治 () ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	ｽﾎﾟｰﾂ医学
兼担	教授	後藤　彰 () ＜平成31年4月＞ 体育学士	体育科教育法 体育科教育実践法 教育実習
兼担	教授	成田　和穂 () ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ
兼担	教授	町田　輝雄 () ＜平成30年4月＞ 文学修士※	ﾄﾞｲﾂ語 **応用英語**
兼担	**准教授**	市川　純 () ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	~~英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ~~ **基礎英語Ⅰ** ~~基礎英語Ⅱ~~
兼担	教授	世川　望 () ＜平成30年4月＞ 芸術学士	芸術(音楽)
兼担	教授	田中　信行 () ＜平成30年4月＞ 博士（学術）	障害概論 障害者ｽﾎﾟｰﾂ現場実習 障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅰ 障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅱ 障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ 障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅱ
兼担	教授	関根　正美 () ＜平成30年4月＞ 博士（体育科学）	哲学 ｽﾎﾟｰﾂ哲学
兼担	教授	津田　博子 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	運動方法・ﾀﾞﾝｽ(ﾌｫｰｸﾀﾞﾝｽを含む)
兼担	教授	齋藤　一雄 () ＜平成30年4月1日＞ 博士（医学）	運動方法・武道(相撲)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	木原　祐二 () ＜平成32年4月＞ 学士（体育学）	野外活動現場実習 専門運動方法(ｺﾞﾙﾌ) ｺﾞﾙﾌ理論・実習
兼担	准教授	佐野　昌行 () ＜平成30年4月＞ 博士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論 ｽﾎﾟｰﾂ経営管理学
兼担	教授	三好　仁司 () ＜平成30年4月＞ 文学士	道徳教育の指導法 教師論
兼担	教授	平沼　憲治 () ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	ｽﾎﾟｰﾂ医学
兼担	教授	後藤　彰 () ＜平成31年4月＞ 体育学士	体育科教育法 **体育科教育実践法** 教育実習
兼担	教授	成田　和穂 () ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ
兼担	教授	町田　輝雄 () ＜平成30年4月＞ 文学修士※	ﾄﾞｲﾂ語 **応用英語**
兼担	教授	世川　望 () ＜平成30年4月＞ 芸術学士	芸術(音楽)
兼担	教授	田中　信行 () ＜平成30年4月＞ 博士（学術）	障害概論 障害者ｽﾎﾟｰﾂ現場実習 障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅰ 障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅱ 障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ 障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅱ
兼担	教授	関根　正美 () ＜平成30年4月＞ 博士（体育科学）	哲学 ｽﾎﾟｰﾂ哲学
兼担	教授	津田　博子 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	運動方法・ﾀﾞﾝｽ(ﾌｫｰｸﾀﾞﾝｽを含む)
兼担	教授	齋藤　一雄 () ＜平成30年4月1日＞ 博士（医学）	運動方法・武道(相撲)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	木原　祐二 () ＜平成32年4月＞ 学士（体育学）	野外活動現場実習 専門運動方法(ｺﾞﾙﾌ) ｺﾞﾙﾌ理論・実習
兼担	准教授	佐野　昌行 () ＜平成30年4月＞ 博士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論 ｽﾎﾟｰﾂ経営管理学
兼任	**講師**	三好　仁司 () ＜平成30年4月＞ 文学士	**道徳教育の指導法** 教師論
兼担	教授	平沼　憲治 () ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	ｽﾎﾟｰﾂ医学
兼担	教授	後藤　彰 () ＜平成31年4月＞ 体育学士	体育科教育法 **体育科教育実践法** **教育実習**
兼担	教授	成田　和穂 () ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ
兼担	教授	町田　輝雄 () ＜平成30年4月＞ 文学修士※	ﾄﾞｲﾂ語 **応用英語**
兼担	教授	世川　望 () ＜平成30年4月＞ 芸術学士	芸術(音楽)
兼担	教授	田中　信行 () ＜平成30年4月＞ 博士（学術）	障害概論 障害者ｽﾎﾟｰﾂ現場実習 障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅰ 障害者ｽﾎﾟｰﾂ論Ⅱ 障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ 障害者ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅱ
兼担	教授	関根　正美 () ＜平成30年4月＞ 博士（体育科学）	哲学 ｽﾎﾟｰﾂ哲学
兼担	教授	津田　博子 () ＜平成30年4月＞ 体育学修士	運動方法・ﾀﾞﾝｽ(ﾌｫｰｸﾀﾞﾝｽを含む)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	山口　和之 () 〈平成30年4月〉 Doctor of Philosophy Linguistics(ｱﾒﾘｶ)	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 海外語学研修 応用英語
兼担	教授	野井　真吾 () 〈平成31年4月〉 博士（体育科学）	学校保健(小児保健･精神保健を含む)
兼担	教授	津山　薫 () 〈平成30年4月〉 博士（体育科学）	機能解剖学 発育発達論
兼担	教授	鈴川　一宏 () 〈平成30年4月〉 博士（体育科学） 博士（医学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B 衛生学･公衆衛生学(運動衛生学を含む)
兼担	教授	三宅　良輔 () 〈平成30年4月〉 博士（医学）	運動方法･体つくり運動(体操)
兼担	教授	岡本　孝信 () 〈平成31年4月〉 博士（人間科学）	ｽﾎﾟｰﾂ生理学
兼担	教授	小林　正利 () 〈平成31年4月〉 博士（医学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B 学校安全(救急処置を含む)
兼担	准教授	松平　昭二 () 〈平成31年4月〉 体育学修士	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ(事前･事後指導を含む)
兼担	准教授	舘鼻　誠 () 〈平成31年4月〉 文学修士	歴史学
兼担	准教授	堀尾　哲也 () 〈平成31年4月〉 理学博士	生命科学 統計学
兼担	准教授	今野　哲 () 〈平成30年4月〉 文学修士※	国語表現Ⅰ 国語表現Ⅱ
兼担	教授	林　忠男 (57) 〈平成30年4月〉 修士（学術）※	情報処理(情報機器の操作を含む)
兼担	准教授	齋藤　雅英 () 〈平成31年4月〉 体育学修士 修士（心理学）※	教育心理学 生徒指導論(進路指導を含む)
兼担	教授	大本　洋嗣 () 〈平成30年4月〉 修士（体育学）	海浜実習 運動方法･水泳
兼担	准教授	田辺　勝 () 〈平成30年4月〉 修士（体育学）	運動方法･武道(柔道)
兼担	教授	畠田　好章 () 〈平成30年4月〉 修士（体育科学）	運動方法･器械運動

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	山口　和之 () 〈平成30年4月〉 Doctor of Philosophy Linguistics(ｱﾒﾘｶ)	~~基礎英語Ⅰ~~ 基礎英語Ⅱ 海外語学研修 応用英語
兼担	教授	野井　真吾 () 〈平成31年4月〉 博士（体育科学）	学校保健(小児保健･精神保健を含む)
兼担	教授	津山　薫 () 〈平成30年4月〉 博士（体育科学）	機能解剖学 発育発達論
兼担	教授	鈴川　一宏 () 〈平成30年4月〉 博士（体育科学） 博士（医学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B 衛生学･公衆衛生学(運動衛生学を含む)
兼担	教授	三宅　良輔 () 〈平成30年4月〉 博士（医学）	運動方法･体つくり運動(体操)
兼担	教授	岡本　孝信 () 〈平成31年4月〉 博士（人間科学）	ｽﾎﾟｰﾂ生理学
兼担	教授	小林　正利 () 〈平成31年4月〉 博士（医学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B 学校安全(救急処置を含む)
兼担	准教授	松平　昭二 () 〈平成31年4月〉 体育学修士	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ(事前･事後指導を含む)
兼担	准教授	舘鼻　誠 () 〈平成31年4月〉 文学修士	歴史学
兼担	准教授	堀尾　哲也 () 〈平成31年4月〉 理学博士	生命科学 統計学
兼担	准教授	今野　哲 () 〈平成30年4月〉 文学修士※	国語表現Ⅰ 国語表現Ⅱ
兼担	教授	林　忠男 (57) 〈平成30年4月〉 修士（学術）※	情報処理(情報機器の操作を含む)
兼担	准教授	齋藤　雅英 () 〈平成31年4月〉 体育学修士 修士（心理学）※	教育心理学 生徒指導論(進路指導を含む)
兼担	教授	大本　洋嗣 () 〈平成30年4月〉 修士（体育学）	海浜実習 運動方法･水泳
兼担	**教授**	田辺　勝 () 〈平成30年4月〉 修士（体育学）	運動方法･武道(柔道)
兼担	教授	畠田　好章 () 〈平成30年4月〉 修士（体育科学）	運動方法･器械運動

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	山口　和之 () 〈平成30年4月〉 Doctor of Philosophy Linguistics(ｱﾒﾘｶ)	~~基礎英語Ⅰ~~ 基礎英語Ⅱ 海外語学研修 応用英語
兼担	教授	野井　真吾 () 〈平成31年4月〉 博士（体育科学）	学校保健(小児保健･精神保健を含む)
兼担	教授	津山　薫 () 〈平成30年4月〉 博士（体育科学）	機能解剖学 発育発達論
兼担	教授	鈴川　一宏 () 〈平成30年4月〉 博士（体育科学） 博士（医学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B 衛生学･公衆衛生学(運動衛生学を含む)
兼担	教授	三宅　良輔 () 〈平成30年4月〉 博士（医学）	運動方法･体つくり運動(体操)
兼担	教授	岡本　孝信 () 〈平成31年4月〉 博士（人間科学）	ｽﾎﾟｰﾂ生理学
兼担	教授	小林　正利 () 〈平成31年4月〉 博士（医学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B 学校安全(救急処置を含む)
兼担	准教授	松平　昭二 () 〈平成31年4月〉 体育学修士	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ(事前･事後指導を含む)
兼担	准教授	舘鼻　誠 () 〈平成31年4月〉 文学修士	歴史学
兼担	准教授	堀尾　哲也 () 〈平成31年4月〉 理学博士	生命科学 統計学
兼担	准教授	今野　哲 () 〈平成30年4月〉 文学修士※	国語表現Ⅰ 国語表現Ⅱ
兼担	教授	林　忠男 (58) 〈平成30年4月〉 修士（学術）※	情報処理(情報機器の操作を含む)
兼担	准教授	齋藤　雅英 () 〈平成31年4月〉 体育学修士 修士（心理学）※	教育心理学 生徒指導論(進路指導を含む)
兼担	教授	大本　洋嗣 () 〈平成30年4月〉 修士（体育学）	海浜実習 運動方法･水泳
兼担	**教授**	田辺　勝 () 〈平成30年4月〉 修士（体育学）	運動方法･武道(柔道)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	山口　和之 () 〈平成30年4月〉 Doctor of Philosophy Linguistics(ｱﾒﾘｶ)	~~基礎英語Ⅰ~~ 基礎英語Ⅱ 海外語学研修 応用英語
兼担	教授	野井　真吾 () 〈平成31年4月〉 博士（体育科学）	学校保健(小児保健･精神保健を含む)
兼担	教授	津山　薫 () 〈平成30年4月〉 博士（体育科学）	機能解剖学 発育発達論
兼担	教授	鈴川　一宏 () 〈平成30年4月〉 博士（体育科学） 博士（医学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B 衛生学･公衆衛生学(運動衛生学を含む)
兼担	教授	三宅　良輔 () 〈平成30年4月〉 博士（医学）	運動方法･体つくり運動(体操)
兼担	教授	岡本　孝信 () 〈平成31年4月〉 博士（人間科学）	ｽﾎﾟｰﾂ生理学
兼担	教授	小林　正利 () 〈平成31年4月〉 博士（医学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B 学校安全(救急処置を含む)
兼担	准教授	舘鼻　誠 () 〈平成31年4月〉 文学修士	歴史学
兼担	**教授**	堀尾　哲也 () 〈平成31年4月〉 理学博士	生命科学 統計学
兼担	准教授	今野　哲 () 〈平成30年4月〉 文学修士※	国語表現Ⅰ 国語表現Ⅱ
兼担	教授	林　忠男 (59) 〈平成30年4月〉 修士（学術）※	情報処理(情報機器の操作を含む)
兼担	准教授	齋藤　雅英 () 〈平成31年4月〉 体育学修士 修士(心理学)※	教育心理学 生徒指導論(進路指導を含む)
兼担	教授	大本　洋嗣 () 〈平成30年4月〉 修士(体育学)	海浜実習 運動方法･水泳
兼担	教授	畠田　好章 () 〈平成30年4月〉 修士(体育科学)	運動方法･器械運動

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	山口　和之 () 〈平成30年4月〉 Doctor of Philosophy Linguistics(ｱﾒﾘｶ)	~~基礎英語Ⅰ~~ 基礎英語Ⅱ 海外語学研修 応用英語
兼担	教授	野井　真吾 () 〈平成31年4月〉 博士（体育科学）	学校保健(小児保健･精神保健を含む)
兼担	教授	津山　薫 () 〈平成30年4月〉 博士（体育科学）	機能解剖学 発育発達論
兼担	教授	鈴川　一宏 () 〈平成30年4月〉 博士（体育科学） 博士（医学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B 衛生学･公衆衛生学(運動衛生学を含む)
兼担	教授	三宅　良輔 () 〈平成30年4月〉 博士（医学）	運動方法･体つくり運動(体操)
兼担	教授	岡本　孝信 () 〈平成31年4月〉 博士（人間科学）	ｽﾎﾟｰﾂ生理学
兼担	教授	小林　正利 () 〈平成31年4月〉 博士（医学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B 学校安全(救急処置を含む)
兼任	**講師**	舘鼻　誠 () 〈平成31年4月〉 文学修士	歴史学
兼担	**教授**	堀尾　哲也 () 〈平成31年4月〉 理学博士	生命科学 統計学
兼担	准教授	今野　哲 () 〈平成30年4月〉 文学修士※	国語表現Ⅰ 国語表現Ⅱ
兼担	教授	林　忠男 (60) 〈平成30年4月〉 修士（学術）※	情報処理(情報機器の操作を含む)
兼担	准教授	齋藤　雅英 () 〈平成31年4月〉 体育学修士 修士(心理学)※	教育心理学 生徒指導論(進路指導を含む)
兼担	教授	大本　洋嗣 () 〈平成30年4月〉 修士(体育学)	海浜実習 運動方法･水泳

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	大石　健二 () 〈平成31年4月〉 博士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B
兼担	准教授	半田　勝久 () 〈平成30年4月〉 修士（教育）※	教育原理 人権教育
兼担	准教授	岡田　隆 () 〈平成31年4月〉 修士（体育科学）※	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ実践演習
兼担	准教授	周東　美材 () 〈平成31年4月〉 博士（社会情報学）	社会学
兼担	准教授	高井　秀明 () 〈平成32年4月〉 博士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂ心理学
兼担	助教	安達　瑞保 () 〈平成31年4月〉 修士（家政学）	ｽﾎﾟｰﾂ栄養学（食品学を含む）
兼担	助教	村田　由香里 () 〈平成32年4月〉 修士（体育科学）	ｽﾀｼﾞｵｴｸｻｻｲｽﾞ
兼担	助教	新里　知佳野 () 〈平成30年4月〉 修士（体育科学）	運動方法・武道（剣道）
兼担	助教	小柳　将吾 () 〈平成31年4月〉 修士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂと組織
兼担	教授	金田　英子 () 〈平成33年4月〉 博士（医学）	予防医学
兼担	准教授	鹿野　晶子 () 〈平成33年4月〉 博士（体育科学）	健康管理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	大石　健二 () 〈平成31年4月〉 博士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究B
兼担	准教授	半田　勝久 () 〈平成30年4月〉 修士（教育）※	教育原理 人権教育
兼担	准教授	岡田　隆 () 〈平成31年4月〉 修士（体育科学）※	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ実践演習
兼任	講師	周東　美材 () 〈平成31年4月〉 博士（社会情報学）	社会学
兼担	准教授	高井　秀明 () 〈平成32年4月〉 博士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂ心理学
兼担	助教	安達　瑞保 () 〈平成31年4月〉 修士（家政学）	ｽﾎﾟｰﾂ栄養学（食品学を含む）
兼担	准教授	村田　由香里 () 〈平成32年4月〉 修士（体育科学）	ｽﾀｼﾞｵｴｸｻｻｲｽﾞ
兼担	助教	新里　知佳野 () 〈平成30年4月〉 修士（体育科学）	運動方法・武道（剣道）
兼担	助教	小柳　将吾 () 〈平成31年4月〉 修士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂと組織
兼担	教授	金田　英子 () 〈平成33年4月〉 博士（医学）	予防医学
兼担	准教授	鹿野　晶子 () 〈平成33年4月〉 博士（体育科学）	健康管理学
兼担	教授	瀬尾　京子 () 〈平成30年4月〉 博士（医学）	運動方法・器械運動
兼担	教授	筒井　崇護 () 〈平成30年4月〉 法学士	運動方法・ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ（野球を含む）
兼担	准教授	横田　匡俊 () 〈平成30年4月〉 修士（教育学）	ｽﾎﾟｰﾂとまちづくり

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	半田　勝久 () 〈平成30年4月〉 修士（教育）※	教育原理 人権教育
兼担	准教授	岡田　隆 () 〈平成31年4月〉 修士（体育科学）※	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ実践演習
兼任	講師	周東　美材 () 〈平成31年4月〉 博士（社会情報学）	社会学
兼担	准教授	高井　秀明 () 〈平成32年4月〉 博士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂ心理学
兼担	助教	安達　瑞保 () 〈平成31年4月〉 修士（家政学）	ｽﾎﾟｰﾂ栄養学（食品学を含む）
兼担	准教授	村田　由香里 () 〈平成32年4月〉 修士（体育科学）	ｽﾀｼﾞｵｴｸｻｻｲｽﾞ
兼担	助教	新里　知佳野 () 〈平成30年4月〉 修士（体育科学）	運動方法・武道（剣道）
兼担	助教	小柳　将吾 () 〈平成31年4月〉 修士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂと組織
兼担	教授	金田　英子 () 〈平成33年4月〉 博士（医学）	予防医学
兼担	准教授	鹿野　晶子 () 〈平成33年4月〉 博士（体育科学）	健康管理学
兼担	教授	瀬尾　京子 () 〈平成30年4月〉 博士（医学）	運動方法・器械運動
兼担	教授	筒井　崇護 () 〈平成30年4月〉 法学士	運動方法・ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ（野球を含む）
兼担	准教授	横田　匡俊 () 〈平成30年4月〉 修士（教育学）	ｽﾎﾟｰﾂとまちづくり
兼担	准教授	大塚　幹太 () 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	保健科教育法
兼担	准教授	小林　史明 () 〈平成31年4月〉 修士（体育科学）	運動方法・陸上競技

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	半田　勝久 () 〈平成30年4月〉 修士（教育）※	教育原理 人権教育
兼担	准教授	岡田　隆 () 〈平成31年4月〉 修士（体育科学）※	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ実践演習
兼任	講師	周東　美材 () 〈平成31年4月〉 博士（社会情報学）	社会学
兼担	准教授	高井　秀明 () 〈平成32年4月〉 博士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂ心理学
兼担	助教	安達　瑞保 () 〈平成31年4月〉 修士（家政学）	ｽﾎﾟｰﾂ栄養学（食品学を含む）
兼担	准教授	村田（高井）由香里 () 〈平成32年4月〉 修士（体育科学）	ｽﾀｼﾞｵｴｸｻｻｲｽﾞ
兼担	助教	新里　知佳野 () 〈平成30年4月〉 修士（体育科学）	運動方法・武道（剣道）
兼担	助教	小柳　将吾 () 〈平成31年4月〉 修士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂと組織
兼担	教授	金田　英子 () 〈平成33年4月〉 博士（医学）	予防医学
兼担	准教授	鹿野　晶子 () 〈平成33年4月〉 博士（体育科学）	健康管理学
兼担	教授	瀬尾　京子 () 〈平成30年4月〉 博士（医学）	運動方法・器械運動
兼担	教授	小嶋　斬太 () 〈令和2年4月〉 博士（医学）	運動方法・武道（柔道）
兼担	教授	奥村　高明 () 〈令和2年4月〉 博士（芸術学）	教育課程論
兼担	准教授	横田　匡俊 () 〈平成30年4月〉 修士（教育学）	ｽﾎﾟｰﾂとまちづくり
兼担	准教授	大塚　幹太 () 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	保健科教育法 ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ（事前・事後指導を含む）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	半田　勝久 () 〈平成30年4月〉 修士（教育）※	教育原理 人権教育
兼担	准教授	岡田　隆 () 〈平成31年4月〉 修士（体育科学）※	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ実践演習
兼担	准教授	高井　秀明 () 〈平成32年4月〉 博士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂ心理学
兼担	助教	安達　瑞保 () 〈平成31年4月〉 修士（家政学）	ｽﾎﾟｰﾂ栄養学（食品学を含む）
兼担	准教授	村田（高井）由香里 () 〈平成32年4月〉 修士（体育科学）	ｽﾀｼﾞｵｴｸｻｻｲｽﾞ
兼担	助教	新里　知佳野 () 〈平成30年4月〉 修士（体育科学）	運動方法・武道（剣道）
兼担	助教	小柳　将吾 () 〈平成31年4月〉 修士（体育科学）	ｽﾎﾟｰﾂと組織
兼担	教授	金田　英子 () 〈平成33年4月〉 博士（医学）	予防医学
兼担	准教授	鹿野　晶子 () 〈平成33年4月〉 博士（体育科学）	健康管理学
兼担	教授	瀬尾　京子 () 〈平成30年4月〉 博士（医学）	運動方法・器械運動
兼担	教授	奥村　高明 () 〈令和2年4月〉 博士（芸術学）	教育課程論
兼担	准教授	横田　匡俊 () 〈平成30年4月〉 修士（教育学）	ｽﾎﾟｰﾂとまちづくり
兼担	准教授	大塚　幹太 () 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	保健科教育法 ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ（事前・事後指導を含む）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	島原　富士江 () 〈平成31年4月〉 文学士	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝA ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝB
兼任	講師	島田　光美 () 〈平成32年4月〉 文学士	教育の制度と経営
兼任	講師	陶山　智 () 〈平成32年4月〉 文学修士	教育相談（ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞを含む）
兼任	講師	石森　圭 () 〈平成30年4月〉 工学士	航空基礎 航空概論 航空産業論 ｸﾙｰ・ﾘｿｰｽ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ 飛行安全

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	島原　富士江 () 〈平成31年4月〉 文学士	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝA ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝB
兼任	講師	島田　光美 () 〈平成32年4月〉 文学士	教育の制度と経営
兼任	講師	陶山　智 () 〈平成32年4月〉 文学修士	教育相談（ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞを含む）
兼任	講師	石森　圭 () 〈平成30年4月〉 工学士	航空基礎 航空概論 航空産業論 ｸﾙｰ・ﾘｿｰｽ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ 飛行安全
兼任	講師	秋田　昌彦 () 〈平成30年4月〉 体育学士	運動方法・器械運動
兼任	講師	木村　文明 () 〈平成30年4月〉 体育学士	運動方法・水泳
兼任	講師	森田　美雪 () 〈平成30年4月〉 体育学士	運動方法・水泳
兼任	講師	杉沼　春美 () 〈平成30年4月〉 体育学士	運動方法・水泳
兼任	講師	泉　圭祐 () 〈平成30年4月〉 修士（体育学）	運動方法・球技A

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	島原　富士江 () 〈平成31年4月〉 文学士	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝA ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝB
兼任	講師	島田　光美 () 〈平成32年4月〉 文学士	教育の制度と経営
兼任	講師	陶山　智 () 〈平成32年4月〉 文学修士	教育相談（ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞを含む）
兼任	講師	石森　圭 () 〈平成30年4月〉 工学士	航空基礎 航空概論 航空産業論 ｸﾙｰ・ﾘｿｰｽ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ 飛行安全
兼任	講師	秋田　昌彦 () 〈平成30年4月〉 体育学士	運動方法・器械運動
兼任	講師	木村　文明 () 〈平成30年4月〉 体育学士	運動方法・水泳
兼任	講師	杉沼　春美 () 〈平成30年4月〉 体育学士	運動方法・水泳
兼任	講師	泉　圭祐 () 〈平成30年4月〉 修士（体育学）	運動方法・球技A
兼任	講師	伊藤　秀彦 () 〈平成31年4月〉 修士（文学）※	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ
兼任	講師	神成　真一 () 〈平成31年4月〉 教育学士	特別活動の指導法
兼任	講師	中田　伸直 () 〈平成31年4月〉 体育学士	運動方法・水泳
兼任	講師	塩田　義法 () 〈平成31年4月〉 修士（体育科学）	運動方法・水泳
兼任	講師	永井　晴海 () 〈平成31年4月〉 学士（体育学）	運動方法・水泳

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	島原　富士江 () 〈平成31年4月〉 文学士	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝA ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝB
兼任	講師	島田　光美 () 〈平成32年4月〉 文学士	教育の制度と経営
兼任	講師	石森　圭 () 〈平成30年4月〉 工学士	航空基礎 航空概論 航空産業論 ｸﾙｰ・ﾘｿｰｽ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ 飛行安全
兼任	講師	木村　文明 () 〈平成30年4月〉 体育学士	運動方法・水泳
兼任	講師	森田　美雪 () 〈平成30年4月〉 体育学士	運動方法・水泳
兼任	講師	泉　圭祐 () 〈平成30年4月〉 修士（体育学）	運動方法・球技A
兼任	講師	伊藤　秀彦 () 〈平成31年4月〉 修士（文学）※	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ
兼任	講師	神成　真一 () 〈平成31年4月〉 教育学士	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
兼任	講師	永井　晴海 () 〈平成31年4月〉 学士（体育学）	運動方法・水泳
兼任	講師	佐々木　彰子 () 〈令和2年4月〉 博士（文学）	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ
兼任	講師	木村　典和子 () 〈令和2年4月〉 経営学士	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝB
兼任	講師	畑山　茂雄 () 〈令和2年4月〉 修士（体育科学）	運動方法・陸上競技
兼任	講師	清水　俊直 () 〈令和2年4月〉 体育学士	運動方法・水泳

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	島原　富士江 () 〈平成31年4月〉 文学士	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝA ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝB
兼任	講師	島田　光美 () 〈平成32年4月〉 文学士	教育の制度と経営
兼任	講師	石森　圭 () 〈平成30年4月〉 工学士	航空基礎 航空概論 航空産業論 ｸﾙｰ・ﾘｿｰｽ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ 飛行安全
兼任	講師	木村　文明 () 〈平成30年4月〉 体育学士	運動方法・水泳
兼任	講師	泉　圭祐 () 〈平成30年4月〉 修士（体育学）	運動方法・球技A
兼任	講師	伊藤　秀彦 () 〈平成31年4月〉 修士（文学）※	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ
兼任	講師	神成　真一 () 〈平成31年4月〉 教育学士	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
兼任	講師	塩田　義法 () 〈平成31年4月〉 修士（体育科学）	運動方法・水泳
兼任	講師	永井　晴海 () 〈平成31年4月〉 学士（体育学）	運動方法・水泳
兼担	助教	畑山　茂雄 () 〈令和2年4月〉 修士（体育科学）	運動方法・陸上競技

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木　幸 () 〈令和3年4月〉 修士（教育学）
		保健科教育実践法

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【平成３０年度】

・時間割の都合により「生涯学習概論Ⅰ」の担当が越村康英講師（兼任）から上田幸夫教授（専任）に変更。
・小泉和史准教授（専任）が「教授」に職位変更。
・時間割の都合により「野外活動論」の担当が高荷英久助教（専任）から小泉和史教授（専任）に変更。
・時間割の都合により、「応用英語」の担当が山口和之教授（兼担）から町田輝雄教授（兼担）に変更。
・時間割の都合により、「基礎英語Ⅰ」の担当が山口和之教授（兼担）から市川純助教（兼担）に変更。
・教育指導体制充実のため、「基礎英語Ⅱ」の担当教員に市川純助教（兼担）を追加。
・田辺勝准教授（兼担）が「教授」に職位変更。
・周東美材准教授退職に伴い、専任・兼担・兼任の別が「兼任」に、職名が准教授から「講師」に変更。
・村田由香里助教（兼担）が「准教授」に職位変更。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・器械運動」の担当教員に瀬尾京子教授（兼担）、秋田昌彦講師（兼任）を追加。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・ソフトボール（野球を含む）」の担当教員に筒井崇護教授（兼担）を追加。
・坂口正治教授（兼担）就任辞退により、「スポーツとまちづくり」を横田匡俊准教授（兼担）が担当。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・ダンス（フォークダンスを含む）」の担当教員に松本真咲助教（兼担）を追加。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・水泳」の担当教員に木村文明講師（非常勤講師）、森田美雪講師（非常勤講師）、杉沼春美講師（非常勤講師）を追加。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・球技A」の担当教員に泉圭祐講師（兼任）を追加。

【令和元年度】

・日比野幹生准教授（兼担）が「教授」に職位変更。
・市川純助教（兼担）が「准教授」に職位変更。
・時間割の都合により、「英語コミュニケーションⅠ」の担当が市川純准教授（兼担）から伊藤秀彦講師（兼任）に変更、「基礎英語Ⅱ」の担当から市川純准教授（兼担）を削除。
・時間割の都合により、「運動方法・器械運動」の担当から畠田好章教授（兼担）を削除。
・時間割の都合により、「スポーツマネジメント研究B」の担当から大石健二准教授（兼担）を削除。
・時間割の都合により、「保健科教育法」の担当が永井大樹講師（兼任）から大塚幹太准教授（兼担）に変更。
・時間割の都合により、「運動方法・陸上競技」の担当教員に小林史明准教授（兼担）を追加。
・教育指導体制充実のため、「スポーツ医学」の担当教員に遠藤直哉准教授（兼担）を追加。
・時間割の都合により、「心理学」の担当が雨森雅哉講師（兼任）から市川優一郎准教授（兼担）に変更。
・時間割の都合により、「トレーニング実践演習」の担当教員に菊池直樹准教授（兼担）を追加。
・時間割の都合により、「特別活動の指導法」の担当が片山昇講師（兼任）から神成真一講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「運動方法・水泳」の担当から森田美雪講師（兼任）を削除し、教育指導体制充実のため、中田伸恵講師（兼任）、塩田義法講師（兼任）、永井晴海講師（兼任）を追加。

【令和２年度】

・時間割の都合により、「社会調査論」の担当が依田充代教授（専任）から齊藤隆志教授（兼担）に変更。
・教育指導体制充実のため、「現代の子どもと社会教育」の担当が上田幸夫教授（専任）から越村康英講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「生涯学習概論Ⅰ」の担当が上田幸夫教授（専任）から越村康英講師（兼任）に変更。
・担当教員退職のため、、「英語コミュニケーションⅡ」の担当がスーザン･ミラー教授（兼担）から佐々木彩子講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「体育科教育実践法」の担当が後藤彰教授（兼担）から佐藤宏継講師（兼任）に変更。
・担当教員退職のため、「インターンシップ(事前･事後指導を含む)」の担当が松平昭二准教授（兼担）から大塚幹太准教授（兼担）に変更。
・堀尾哲也准教授（兼担）が「教授」に職位変更。
・時間割の都合により、「運動方法・武道（柔道）」の担当が田辺勝教授（兼担）から小嶋新太教授（兼担）、佐藤鉄馬講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「運動方法・器械運動」の担当から秋田昌彦講師（兼任）を削除。後任として、畠田好章教授（兼担）を追加。
・時間割の都合により、「運動方法・ソフトボール(野球を含む)」の担当から筒井崇護教授（兼担）を削除。後任として、相馬満利講師（兼任）を追加。
・担当教員退職のため、「教育課程論」の担当が河合朝晴講師（兼任）から奥村高明教授（兼担）に変更。
・時間割の都合により、「運動方法・陸上競技」の担当から小林史明准教授（兼担）を削除。後任として、畑山茂雄講師（兼任）を追加。
・担当教員退職のため、「教育相談(カウンセリングを含む)」の担当が陶山智講師（兼任）から宇部弘子准教授（兼担）に変更。
・松本真咲助教（兼担）が「准教授」に職位変更。
・担当教員退職のため、「教育の方法と技術」の担当が鳥山康夫講師（兼任）から松井正樹講師（兼任）に変更。
・本人都合により、「社会教育計画Ⅱ」の担当が越村康英講師（兼任）から岩佐真紀講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「キャリアデザインB」の担当が島原富士江講師（兼任）から木村美和子講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「運動方法・水泳」の担当から杉沼晴美講師（兼任）、中田伸恵講師（兼任）、塩田義法講師（兼任）を削除し、教育指導体制充実のため、森田美雪講師（兼任）、清水俊直講師（兼任）を追加。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・球技A」の担当教員に松本沙羅講師（兼任）を追加。
・時間割の都合により、「基礎英語Ⅰ」の担当が市川純准教授（兼担）から大井洋子講師（兼任）に変更。

【令和３年度】

・石井隆憲教授（兼担）が学長就任のため、「日体大の歴史(日体伝統実習を含む)」の担当が福井元助教（兼担）に変更。
・石井隆憲教授（兼担）が学長就任のため、「スポーツ史」の担当が尾川翔大講師（兼任）に変更。
・石井隆憲教授（兼担）が学長就任のため、「体育研究発表実演会」の担当が日比野幹生教授（兼担）に変更。
・時間割の都合により、「保健科教育実践法」の担当が本間啓二教授（兼担）から鈴木宰講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「教育実習」の担当が後藤彰教授（兼担）から本間啓二教授（兼担）に変更。
・松瀬学准教授（兼担）が「教授」に職位変更
・三好仁司教授（兼担）退職に伴い、専任・兼担・兼任の別が「兼任」に、職名が教授から「講師」に変更。
・時間割の都合により、「道徳教育の指導法」の担当が三好仁司講師（兼任）から青柳宏幸准教授（兼担）に変更。
・時間割の都合により、「運動方法・武道（相撲）」の担当が齋藤一雄教授（兼担）から伊東良助教（兼担）に変更。
・舘鼻誠准教授（兼担）退職に伴い、専任・兼担・兼任の別が「兼任」に、職名が准教授から「講師」に変更。
・時間割の都合により、「運動方法・器械運動」の担当から畠田好章教授（兼担）を削除。
・時間割の都合により、「社会学」の担当から周東美材講師（兼任）を削除。
・時間割の都合により、「運動方法・武道（柔道）」の担当が小嶋新太教授（兼担）、佐藤鉄馬講師（兼任）から下和田翔平講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「トレーニング実践演習」の担当から菊池直樹准教授（兼担）を削除。後任として、望月佑季奈講師（兼任）を追加。
・担当教員退職のため、「生涯学習概論I」の担当が越村康英講師（兼任）から橋田慈子講師（兼任）に変更。
・担当教員退職のため、「社会教育計画I」の担当が越村康英講師（兼任）から斎藤尚美講師（兼任）に変更。
・担当教員退職のため、「地域福祉と社会教育」の担当が越村康英講師（兼任）から遠藤大哉講師（兼任）に変更。
・担当教員退職のため、「現代の子どもと社会教育」の担当が越村康英講師（兼任）から遠藤大哉講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「キャリアデザインB」の担当が木村美和子講師（兼任）から島原富士江講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「運動方法・水泳」の担当から森田美雪講師（兼任）、清水俊直講師（兼任）を削除し、教育指導体制充実のため、中嶋崇光講師（兼任）、大井恵滋講師（兼任）、塩田義法講師（兼任）を追加。
・畑山茂雄講師（兼任）の専任・兼担・兼任の別が「兼担」に、職名が講師から「助教」に変更。
・担当教員退職により、「英語コミュニケーションⅡ」の担当が佐々木彩子講師（兼任）から大藤素子講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「体育科教育実践法」の担当が佐藤宏継講師（兼任）から鈴木康介助教（兼担）に変更。
・時間割の都合により、「運動方法・ソフトボール(野球を含む)」の担当から相馬満利講師（兼任）を削除。
・時間割の都合により、「保健科教育実践法」の担当が本間啓二教授（兼担）から鈴木宰講師（兼任）に変更。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
9 名	5 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
8	2	0	2	12	4	9	1	0	2	12	8
(8)	(2)	(0)	(2)	(12)	(9)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
9	1	0	2	12	8	9	1	0	2	12	8
[1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[4]	[1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[4]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	3 名	3 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = 100\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{3}{12} = 25\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{8}{4} = 200\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

該当なし

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由

合計（D）				後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。

・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

該当なし

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由

合計（F）				後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。

・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{12} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

該当なし

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由

合計				後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0 科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について に記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。

・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （平成29年）	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。（スポーツマネジメント学科及びスポーツライフマネジメント学科）	留意事項	完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を計画的に進める。	履行中	教員の年齢構成を考慮し、完成年度を踏まえつつ、随時公募を含めた教員採用計画を立て、教員組織の拡充を図る。 具体的には、完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を含めた採用計画を進める。

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜スポーツマネジメント学部　スポーツライフマネジメント学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例） ①　修了要件単位数 　１２４単位　必修科目〇〇単位、選択科目〇〇単位 ②　施設・設備 　ａ　講義室〇室（〇㎡） 　ｂ　自習室〇室（〇㎡） 　ｃ　図書〇〇冊	①　学生の専門性をより高めるため、必修科目（１科目・２単位）を追加。（別添〇「新旧対象表」参照） ②　学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋（〇㎡）増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
　　及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

大学設置基準第25条第3項に「教育内容等の改善のための組織的な研修等」と定められ義務化されたＦＤ活動は、本学では平成18年4月1日より、副学長、学科長及び学長が必要と認めた者並びに関係部署職員により委員が組織され全学委員会として活動を展開していた。平成30年4月1日よりインスティテューショナル・リサーチアンドエフェクティブネス室がＦＤ活動の推進に関する事項を統括し、その後平成31年4月1日より教育企画センターの設置に伴い業務が移管された。

教育企画センター管理規程(平成31年2月14日学長制定)

第1条 日本体育大学学則第7条の2に基づき教育企画センター(以下「センター」という。)を置き、組織及び運営について定めるものとする。

第2条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

(1) 学生教育の充実に関する事項
(2) 教育課程に関する事項
(3) 教養教育に関する事項
(4) 授業時間割編成に関する事項
(5) 授業展開に関する事項
(6) FD(Faculty Development)の推進に関する事項
(7) 所掌事務に係る調査、統計及び報告に関する事項
(8) 所管する委員会に関する事項

第3条 センターの構成員は、学校法人日本体育大学組織規程の定めにより置く。
2 センターの構成員として委嘱された教員の任期は2年とし、再任を妨げない。
3 前項の教員の授業担当等は、センター業務に支障を来さぬよう配慮するものとする。

第4条 センターの管理運営に関する重要事項を審議するため、運営委員会を置く。
2 運営委員会の組織及び運営については、別に定める。

第5条 この規程の改廃は、学部長会の議を経て学長が行う。

附 則
(施行日)
この規程は、平成31年4月1日から施行する。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

年間10回開催し、教育企画センター長(委員長)、各学部長、教育企画副センター長、学生支援センター長、関係職員で構成される委員の3分の2以上の出席をもって会議は成立することとしている。

ｃ　委員会の審議事項等

・授業評価アンケートに関する事項
・令和2年度のFD活動に関する事項　等

② 実施状況

ａ　実施内容

新型コロナウイルス感染症拡大防止の施策として導入されたオンライン（遠隔）授業について、「授業評価アンケート」・「遠隔授業に関するアンケート」・「各種FD」を実施。学生・教員の声や授業の実際を検証し、オンライン（遠隔）授業の在り方、活用について検討した。

また、教員が自身の研究内容を講演し、参加者と議論することにより研究交流の活性化や自己研鑽につなげることを目的とした「学術セミナー」を開催した。

ｂ　実施方法

「本学の教学支援システム(Webサービス)NSSU PASSPORT<通称n-pass(エヌ・パス)>を利用した授業や映像配信等（ビデオコミュニケーションツール他）を用いた授業検討プロジェクト」を専任教員で起ち上げ、遠隔授業に関する情報整理・他教員のn-pass活用例紹介や外部のビデオコミュニケーションツール（Zoom,MicrosoftTeams等）の導入事例等について、3回にわたり全教員向けにオンラインで開催した。

前学期終了時には「前学期授業（遠隔授業）の評価・検証と今後の授業展開に向けて」の報告会を実施し、並行した「授業評価アンケート」及び「前学期遠隔授業に関するアンケート」に基づき後学期授業の展開を検討。

更に、後学期開始前・終了後にそれぞれ「全学FD研修会」を行い、先進的な授業実践の共有や、年間を通した実態把握・改善点抽出を受け、今後の授業展開に向けた具体的な対策を検討した。

また、「学術セミナー」は研究活動の推進や研究会の企画・開催等を行なう総合スポーツ科学研究センターの主催により開催した。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

・n-pass を利用した授業や映像配信等(ビデオコミュニケーションツール他)を用いた授業検討プロジェクトによるセミナー（教員以外の参加者含む）

第1回 令和2年4月29日（水）　参加者 109名
第2回 令和2年4月30日（木）　参加者　95名
第3回 令和2年5月 1日（金）　参加者 128名

・「前学期授業（遠隔授業）の評価・検証と今後の授業展開に向けて」の報告会（教員以外の参加者含む）

令和2年8月7日（金）　参加者 100名

・令和2年度全学FD研修会（教員以外の参加者含む）

第1回 令和2年9月10日（木）　参加者 134名
第2回 令和3年3月29日（月）　参加者　79名

・学術セミナー（教員以外の参加者含む）

第1回 令和2年 6月19日（金）　参加者 375名
第2回 令和2年 7月10日（金）　参加者　65名
第3回 令和2年 7月31日（金）　参加者　40名
第4回 令和2年11月19日（木）　参加者　45名
第5回 令和2年12月18日（金）　参加者　31名
第6回 令和3年 1月28日（木）　参加者　24名

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学の教学支援システム(Webサービス)NSSU PASSPORT<通称n-pass(エヌ・パス)>では、「授業」を切り口とした、担当教員と履修者のＩＣＴホットライン「クラスプロファイル」を有効活用しており、授業評価アンケートや採点、出席管理から授業資料の事前・事後配付、課題配信、小テストに至るまで、単位相当の授業管理を行っている。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の施策として導入されたオンライン（遠隔）授業では、上記の他、「Q&A」機能を追加し、履修者・教員間の一対一でのコミュニケーションが可能となった。

授業評価アンケート設問に対する回答の状況や履修者から寄せられる意見などから、授業担当教員は、自らの授業方法の改善や修正、また、有効な授業方法の情報提供を行うほか、n-passの運用方法提案や機能修正の要望、さらには有効な使用方法の教授を求めるなど、授業改善と自身のスキルアップに取り組んでいる。

大学が提供する１時限９０分の授業をより効果的に行うため、先ずは、出席者の把握や、資料等の配付、課題の回収にかける時間を除去削減し、授業担当教員が学問の教授に集中できるよう、事務局は授業に係る周辺業務の効率化に積極的に参画している。各教員は、これら効率化の先に授業内容の充実を展開し、大学は、カリキュラム改革、組織の整備改善等に取り組む。

また、ICTを活用した学習支援サービスにあっては、「n-pass」に加えて、平成27年4月にオンライン教育サポートシステム「GAKUEN EduTrack」<通称n-track(エヌ・トラック)>を導入した。このシステムの学内リリースにより、個々の教員のITスキルや情報リテラシーの高低を問わない次世代の学習支援方法が具現化するため、授業時間外の学習範囲やその深度が増し、授業では対話型学習などの理想的な「反転授業」が実践できるなど、学生は主体的に学べる真の学習環境が得られる。さらに、平成29年6月に授業収録システム「GET Recorder」を導入したことにより「n-track」の更なる活用等が見込まれる。これらのICTを活用した先端的教育機能の積極的導入により、飛躍的な教育改革を推進することができる教育環境も整えられたことから、課題解決に向けた主体的・協働的で、能動的な学び（アクティブラーニング）の導入など、授業方法等を革新するために、これらの具体的手法や活用方法などについて、教員への教育や研修等に積極的に取り組む。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

前学期：令和 2年 7月27日（月）～令和 2年 9月18日（金）　　回答結果公表　9月24日（木）

後学期：令和 3年 1月25日（月）～令和 3年 2月15日（月）　　回答結果公表　2月16日（火）

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

本学の教学支援システム(Webサービス)NSSU PASSPORTの専用メニューを使用し実施。各教科の授業担当教員と履修する個々の学生が結びついており、アンケートの回答は匿名化され、各設問に対する回答を自動集計した上でグラフ化（視覚化）されたものが、授業ごとに当該授業担当教員及び当該履修学生に即時還元される。

また、教員は還元された結果を受け、学期毎に「学習成果」や「改善点」を記した振り返りシートを作成する。各教員より提出された振り返りシートは閲覧可能な冊子とし、図書館や各関係部署へ配置した。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

（5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。）

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例）

・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（４） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

・・・・・・・

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例）
・令和３年５月１日　公表

b 公表方法

記入例）
・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各１冊を配布
・大学ホームページ上に公開予定（令和３年８月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

記入例）
・令和３年に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

〇 設置計画履行状況報告書（令和３年度）

a 公表予定の有無 〔 有 ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫
b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ 公表後３ヶ月以降 〕
c 公表方法 〔 ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫
d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。